

# 事務棟 2 階トイレ改修工事

図 面 リ ス ト					
番 号	図 面 名 ( 建 築 )	縮 尺	番 号	図 面 名 ( 建 築 )	縮 尺
D-00	表紙・図面リスト	———	E-01	電気設備特記仕様書	———
D-01	特記仕様書（建築改修）その1	———	E-02	電気機器姿図	———
D-02	特記仕様書（建築改修）その2	———	E-03	1階平面図・凡例・結線図	1／100
D-03	特記仕様書（建築改修）その3	———	E-04	（既存・改修）2階便所平面詳細図（電灯設備）	1／50
D-04	特記仕様書（建築改修）その4	———	E-05	（既存・改修）2階便所平面詳細図（コンセント・弱電設備）	1／50
D-05	特記仕様書（建築改修）その5	———	E-06	（改修）2階平面図（電灯・弱電設備）	1／100
D-06	特記仕様書（建築改修）その6	———			
D-07	付近見取図・配置図	1/800			
D-08	（既存）1階平面図	1/100			
D-09	（既存）2階平面図	1/100			
D-10	（既存）3階平面図	1/100	番 号	図 面 名 ( 機 械 )	縮 尺
D-11	（改修）2階平面図	1/100	M-01	特記仕様書（機械設備）	———
D-12	（既存）便所矩計図	1/50	M-02	衛生設備器具表	———
D-13	（改修）便所矩計図	1/50	M-03	（改修）2階平面図・機器表・凡例（換気設備）	1/100
D-14	（既存）1階・2階・3階天井伏図・建具表	1/100	M-04	（改修）2階平面図・凡例（消火設備）	1/100
D-15	（改修）1階・2階・3階天井伏図・建具表	1/100	M-05	（既存・改修）2階平面詳細図・凡例（衛生設備）	1/50
D-16	（既存・改修）2階便所平面詳細図	1/30・50	M-06	（既存）2階平面図（撤去消火設備）	1/100
D-17	（既存）2階便所展開図	1/50			
D-18	（改修）2階便所展開図ー1	1/50			
D-19	（改修）2階便所展開図ー2	1/50			
D-20	サイン詳細図	1/50・10			

			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2: ——	D
			図面名称		A3: ——	／ 〇〇
			表紙・図面リスト		令和 3 年 - 月 - 日	

事務棟 2階トイレ改修

工事仕様書

I

工事概要

1. 工事場所

佐賀県鳥栖市江島町字西谷

2. 敷地面積

3. 地域地区

都市計画区域（☐内・外）準都市計画区域（☐内・外）  
用途地域等（☐指定なし）  
（☐防火地域・準防火地域・法22条区域☒指定なし）

4. 建物用途

5. 棟別概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	建築基準法 別表第1の区分 事務所	備 考
事務棟	R C造	3	1266.97	629.94		

6. 工事種目

・事務所棟2階便所改修工事

章

① 一般共通事項

項目

① 適用基準等

② 発生材の処理

特記事項

◎ 建築工事標準詳細図（平成28年版）

- ・ 公共建築木造工事標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁事務部監修 平成31年版）
- ◎ ユニバーサルデザイン施設整備基準（佐賀県福祉のまちづくり条例 施設整備マニュアル）
- ◎ 施設におけるわかりやすいユニバーサルデザインのサイン（佐賀県県土づくり本部建築住宅課発行）
- ・ 土木工事等共通仕様書（佐賀県土木整備部）

・ 発注者に引渡しを要するもの（・金属類 ・ PCB含有物 ・ ） [1.3.12]  
引渡し場所 ※構内 ・ （ ）

特定建設資材の分別解体等及び再資源化等

・ 本工事は特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に係る法律」（平成12年5月31日法律104号。以下「建設リサイクル法」という）施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を講ずる

工事契約後に明らかにになったやむを得ない事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督職員と協議する

工程ごとの作業内容

工 程	作 業 内 容
① 造成等	造成等の工事 ・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
② 基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事 ・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
③ 上部構造部分・外装	上部構造部分・外装の工事 ・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
④ 屋根	屋根の工事 ・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
⑤ 建築設備・内装等	建築設備・内装等の工事 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
⑥ その他（ ）	その他の工事 ・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

◎ 本工事は、建設リサイクル法等の対象工事外であるが分別解体等及び特定建設資材の再資源化等について適切な措置を行う

再資源化すべきもの

廃棄物の種類	施設名称	所 在 地	搬出距離
・ コンクリート塊			
・ アスファルト・コンクリート塊			
・ 建設発生木材			
・ 金属			

・ 上記に示す受入れ施設は参考であり、実施にあたっては関係法令を遵守し、適切な処理を行うものとする。なお、処分場の決定に当たっては監督職員と協議をすること。

・ 再生資源利用計画書および実施書は、建設副産物情報交換システム（コプリス）にて作成し提出すること。

	再資源化すべきもの以外			
	廃棄物の種類 ・廃737分3類	施設名称	所 在 地	搬出距離
	・が5くず、 陶磁器くず ・繊維くず			
	・木くず			
	・非飛散性 7373含有建材 ・飛散性7373			
	・廃石膏くず			
	・畳			
	上記に示す受入れ施設は参考であり、実施にあたっては関係法令を遵守し、適切な処理を行うものとする。 なお、処分場の決定に当たっては監督職員と協議をする			
	③ 品質計画	施工計画書で工法を定める場合の風圧力の計算 基準風速（V0）（ ）m/s 地面面度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ ・上記風圧力の1.3倍の風圧力に対する安全性を確保する ・上記風圧力の1.15倍の風圧力に対する安全性を確保する 適用工種 ・ALCパネル（外壁）・押出成形珪砂板（外壁）・外壁石張（乾式） ・長尺金属板葺 ・折板葺 ・アルミ笠木 ・ガラスブロック ・シート防水（機械式）・屋上緑化システム（ ）	[1.2.2]	
	④ 設備工事との取り合い	施工範囲 別表－1による 施工図等 設備機器の設置、取合い等が検討のできる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける	[1.4.2]	
⑤ 材料の品質等	同等以上の材料・機材等の使用 本工事に使用する材料・機材等は設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。 ただし、製造業者が記載されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。 材料・機材等の品質及び性能 本工事に於いて別表－2に示す材料を使用する場合の材料・機材等の製造業者等は次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、その証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける (1) 品質及び性能に関する試験データを整備していること (2) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること (3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制を整えていること	[1.4.2]		
⑥ 環境への配慮	本工事の建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から4)を満たすものとする 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建築材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、繊維材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びビスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する 2) 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する 3) 接着剤は可塑剤（フタル酸ジノールブチル及びフタル酸ジノールエチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する 4) 1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスチレンを発生しない、発散が極めて少ない材料を使用したものとする また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次の通りとする 規制対象外 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築物材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料第三種品 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築物材料 ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 アスベスト含有建材 本工事に使用する材料については、アスベストを含有しないものとする	[1.4.1]		
7. 化学物質の濃度測定	公共工事の配慮事項 グリーン購入法（平成12年法律第100号）に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項に留意すること （基本方針一部抜粋）19. 公共工事の【配慮事項】資材の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、監督職員に報告すること測定はバッチ型採取機器により行う 測定対象室及び測定箇所数は仕上表による 注)測定バッチはホルムアルデヒド用と、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン用の2種類を用いる	[1.5.9]		
⑧ 特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による			
⑨ 施工調査	施工数量調査 調査項目 ・防水改修 ・外壁改修 ・（ ） 調査範囲 ・図示 ・（ ） 調査方法 ・打診及び目視による ・（ ） 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示	[1.5.2] [1.5.3]		

① 技能士

(1.6.2)

	<table><tr><th>適用工事種類</th><th>職 種</th><th>技能検定作業</th></tr><tr><td>仮設工事</td><td>とび</td><td>・とび作業</td></tr><tr><td>鉄筋工事</td><td>鉄筋施工</td><td>・鉄筋組立て作業</td></tr><tr><td>コンクリート工事</td><td>型枠施工</td><td>・型枠工事作業</td></tr><tr><td>防水工事</td><td>防水施工</td><td>・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・シーリング防水工事作業</td></tr><tr><td>木工工事</td><td>建築大工</td><td>・大工工事作業</td></tr><tr><td>屋根及びとい工事</td><td>建築板金</td><td>・内外装板金作業</td></tr><tr><td>金属工事</td><td>内装仕上り施工</td><td>○鋼製下地工事作業</td></tr><tr><td>左官工事</td><td></td><td>・左官作業</td></tr><tr><td>建具工事</td><td>建具製作</td><td>・木製建具手加工作業 ・木製建具機械加工作業 ・ガラス工事作業</td></tr><tr><td>塗装工事</td><td>塗装</td><td>・建築塗装作業</td></tr><tr><td>内装工事</td><td>内装仕上り施工</td><td>・プラスチック床仕上り工事作業 ○ボード仕上り工事作業</td></tr><tr><td></td><td>表装（表具）</td><td>・表具作業</td></tr><tr><td></td><td>表装（壁装）</td><td>・壁装作業</td></tr><tr><td></td><td>畳製作</td><td>・畳製作作業</td></tr><tr><td>排水工事</td><td>配管</td><td>・建築配管作業</td></tr><tr><td>植栽工事</td><td>造園</td><td>・造園工事作業</td></tr></table>	適用工事種類	職 種	技能検定作業	仮設工事	とび	・とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業	コンクリート工事	型枠施工	・型枠工事作業	防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・シーリング防水工事作業	木工工事	建築大工	・大工工事作業	屋根及びとい工事	建築板金	・内外装板金作業	金属工事	内装仕上り施工	○鋼製下地工事作業	左官工事		・左官作業	建具工事	建具製作	・木製建具手加工作業 ・木製建具機械加工作業 ・ガラス工事作業	塗装工事	塗装	・建築塗装作業	内装工事	内装仕上り施工	・プラスチック床仕上り工事作業 ○ボード仕上り工事作業		表装（表具）	・表具作業		表装（壁装）	・壁装作業		畳製作	・畳製作作業	排水工事	配管	・建築配管作業	植栽工事	造園	・造園工事作業	
適用工事種類	職 種	技能検定作業																																																			
仮設工事	とび	・とび作業																																																			
鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業																																																			
コンクリート工事	型枠施工	・型枠工事作業																																																			
防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・シーリング防水工事作業																																																			
木工工事	建築大工	・大工工事作業																																																			
屋根及びとい工事	建築板金	・内外装板金作業																																																			
金属工事	内装仕上り施工	○鋼製下地工事作業																																																			
左官工事		・左官作業																																																			
建具工事	建具製作	・木製建具手加工作業 ・木製建具機械加工作業 ・ガラス工事作業																																																			
塗装工事	塗装	・建築塗装作業																																																			
内装工事	内装仕上り施工	・プラスチック床仕上り工事作業 ○ボード仕上り工事作業																																																			
	表装（表具）	・表具作業																																																			
	表装（壁装）	・壁装作業																																																			
	畳製作	・畳製作作業																																																			
排水工事	配管	・建築配管作業																																																			
植栽工事	造園	・造園工事作業																																																			
11. 建設機械	<p>本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。 なお、排出ガス対策型建設機械に代えて、国交省が認定された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排出ガス対策型と同等とみなすものとする。 ※排出ガス対策型建設機械とは、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき国土交通省で指定された排出ガス対策型建設機械をいう。</p> <table><tr><th>機 種</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発電発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット類 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベスマシンとは別に、 独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの、 ・油圧ハンマ ・バイプロハンマ ・油圧式鋼管入引機機 ・アースオーガ ・オールケーシング掘削機 ・リバスサーキュレーションドリル ・アースドリル ・地下連続壁施工機 ・全周転回オールケーシング掘削機 ・ロードローラ ・タイヤローラ ・振動ローラ ・ホイールクレーン</td><td>ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kW以上260kW以下）を搭載した建設機械を対象とする。</td></tr></table> <p>※建設機械を使用しないときは、エンジンを停止するなど建設機械の稼働時間の抑制に努めること。 ・低騒音型建設機械の適用 建設機械名 ・杭打ち機 ・バックホウ ・トラクタショベル ・ブルドーザ ・振動ローラ</p>	機 種	備 考	・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発電発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット類 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベスマシンとは別に、 独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの、 ・油圧ハンマ ・バイプロハンマ ・油圧式鋼管入引機機 ・アースオーガ ・オールケーシング掘削機 ・リバスサーキュレーションドリル ・アースドリル ・地下連続壁施工機 ・全周転回オールケーシング掘削機 ・ロードローラ ・タイヤローラ ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kW以上260kW以下）を搭載した建設機械を対象とする。																																																
機 種	備 考																																																				
・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発電発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット類 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベスマシンとは別に、 独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの、 ・油圧ハンマ ・バイプロハンマ ・油圧式鋼管入引機機 ・アースオーガ ・オールケーシング掘削機 ・リバスサーキュレーションドリル ・アースドリル ・地下連続壁施工機 ・全周転回オールケーシング掘削機 ・ロードローラ ・タイヤローラ ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kW以上260kW以下）を搭載した建設機械を対象とする。																																																				
1. 足場その他	<p>内部足場 ※脚立、足場板等 ・（ ）</p> <p>外部足場</p> <p>・ 外部足場を設置する （種類： ）</p> <p>・ 防護シートを設置する</p> <p>・ 防音シートを設置する</p> <p>材料・撤去材等の運搬方法</p> <p>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種</p>	<p>[2.2.1]</p> <p>[2.2.1]</p> <p>[表2.2.2]</p>																																																			
② 既存部分の養生	<p>既存部分の養生 ○行う ・行わない</p> <p>養生方法 ※ビニルシート、合板等による ・（ ）</p> <p>既存家具・既存設備等の養生 ※ビニルシート等による ・（ ）</p> <p>設置範囲 ※図示 ・（ ）</p> <p>開口部の養生 ・行う ○行わない</p> <p>養生方法 ・合板張りによる ・（ ）</p> <p>設置範囲 ※図示 ・（ ）</p> <p>固定された備品、机、ロッカー等の移動</p> <p>※行わない ・行う（図示）</p>	<p>[2.3.1]</p> <p>[2.3.1]</p> <p>[2.3.1]</p> <p>[2.3.1]</p>																																																			
3. 仮設間仕切り	<p>仮設間仕切り等の種別</p> <table><tr><th>種別</th><th>材質</th><th>仕 上 げ</th></tr><tr><td>・ A種</td><td>・ せつこうボード厚9.5面張り ケラケラ充填厚さ（ ）</td><td>・ 片面塗装</td></tr><tr><td></td><td>・ 合板厚9面張り ケラケラ充填厚さ（ ）</td><td>・ 片面塗装</td></tr><tr><td>・ B種</td><td>・ せつこうボード厚9.5面張り ・ 合板厚9面張り</td><td>・</td></tr><tr><td>・ C種</td><td>※シート張り</td><td>—</td></tr><tr><td>・ 仮設扉</td><td>・ 合板張本製扉</td><td>・</td></tr></table>	種別	材質	仕 上 げ	・ A種	・ せつこうボード厚9.5面張り ケラケラ充填厚さ（ ）	・ 片面塗装		・ 合板厚9面張り ケラケラ充填厚さ（ ）	・ 片面塗装	・ B種	・ せつこうボード厚9.5面張り ・ 合板厚9面張り	・	・ C種	※シート張り	—	・ 仮設扉	・ 合板張本製扉	・	<p>[2.3.2][表2.3.1]</p>																																	
種別	材質	仕 上 げ																																																			
・ A種	・ せつこうボード厚9.5面張り ケラケラ充填厚さ（ ）	・ 片面塗装																																																			
	・ 合板厚9面張り ケラケラ充填厚さ（ ）	・ 片面塗装																																																			
・ B種	・ せつこうボード厚9.5面張り ・ 合板厚9面張り	・																																																			
・ C種	※シート張り	—																																																			
・ 仮設扉	・ 合板張本製扉	・																																																			
4. 監督員事務所	<p>・ 設ける ※設けない</p> <p>面積規模（ ）㎡程度</p> <p>監督職員スペースと工事監理業務の職員スペースを明示した間仕切り等で仕切る</p> <p>監督職員事務所の仕上げ</p> <table><tr><th>部位等</th><th>仕 上 げ</th></tr><tr><td>床</td><td>合板張り又はビニルシート貼り</td></tr><tr><td>内壁、天井</td><td>合板又は石膏ボード張り、合成樹脂エンデュレーションペイント塗り</td></tr><tr><td>屋根</td><td>塗装済垂れ幕めっき鋼板張り又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td></tr></table> <p>（現場事務所） ・ 現場事務所内に監督職員閲覧スペースを設け、施工計画書等を備えること。</p>	部位等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニルシート貼り	内壁、天井	合板又は石膏ボード張り、合成樹脂エンデュレーションペイント塗り	屋根	塗装済垂れ幕めっき鋼板張り又は鉄板張り、調合ペイント塗り	<p>[2.4.1]</p>																																											
部位等	仕 上 げ																																																				
床	合板張り又はビニルシート貼り																																																				
内壁、天井	合板又は石膏ボード張り、合成樹脂エンデュレーションペイント塗り																																																				
屋根	塗装済垂れ幕めっき鋼板張り又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																				
⑤ 工事用水	構内既存の施設 ○利用できない ☹️有償・無償 ※利用できない																																																				
⑥ 工事用電力	構内既存の施設 ○利用できない ☹️有償・無償 ※利用できない																																																				
⑦ 指定仮設等	<p>指定仮設の範囲（種類・箇所・規格・数量を明示）</p> <p>・</p> <p>上記に該当しない仮設については、全て任意仮設とし、請負者の創意工夫により施工すること。 施工にあたっては、施工計画書に工法・数量を明示し、監督員に提出すること。 なお、任意仮設のため、仮設工法の変更に伴う数量変更や工期変更は行わない。</p>																																																				
1. 共通事項	施工標準 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標準を取り付ける 改修用ドレン（POAS、POASI、POD、POOI、POS、POXI、POXC工法の場合） 取付方法等は、ルーフィング製造所の仕様による																																																				
2. 降雨等に対する養生方法（とい共）	※改修標準仕様書3.1.3(e) (1)～(3)による。 ・	<p>[3.1.3]</p>																																																			

3. 既存防水の処理

既存保護層の撤去

・ 行う (範囲) ・ 図示  
・ 行わない

既存防水層の撤去

・ 行う (範囲) ・ 図示  
・ 行わない

露出防水層表面の仕上げ塗装除却

・ 行う (・ M4S ・ M4AS1 ・ M4C ・ M4D1 ・ L4X)  
・ 行わない

4. 既存防水層の下地補修

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等

※ 図示

POS工法及びPOS1工法 (機械式固定方法) の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置

※改修標準仕様書 3.2.6(d) (3) (vi) ①～③による

5. アスファルト防水

屋根保護層防水防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	絶縁用シート	立上り部の保護
・ P 2 A	・ A - 1 ※ A - 2 ・ A - 3			※ 4' リズシール 4mm 厚さ0.15mm以上	・ 乾式 保護材 ・ コーリート 押え ・ れんが 押え
	・ P 1 B	・ B - 1 ※ B - 2 ・ B - 3			
・ P 2 A I	・ A I - 1 ※ A I - 2 ・ A I - 3				
・ P 1 B I ・ T 1 B I	・ B I - 1 ※ B I - 2 ・ B I - 3				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による

部分乾着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による

平場の保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ ※水下 80mm以上  
床タイル張り ※水下 60mm以上

・ 乾式保護材

商業系パネル・無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。  
金属複合板・金属板と樹脂を積層一体化したものを。  
(品質・性能・試験方法)  
建築材料等品質性能表による

屋根露出防水防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上材料		備考
				種類	使用量	
・ M 4 C	・ C-1 ※C-2 ・ C-3 ・ C-4			・	・	
				・ 製造所の指定による	・ 製造所の指定による	
・ M 3 D ・ P 0 D	※D-2 ・ D-3 ・ D-4			・	・	
				・ 製造所の指定による	・ 製造所の指定による	
・ P 0 D I ・ M 3 D I ・ M 4 D I	※D I-2		(材質) ※JIS A 9521による硬質ウレタン断熱材 2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタン保温材の保温板 2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの (厚さ)・25mm	・ 製造所の指定による	・ 製造所の指定による	

脱気装置

・ 設ける

・ 設けない

改修用ドレン

・ 設ける

・ 設けない

脱気装置の種類及び設置数量

※アスファルトルーフィング類製造所の指定による

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

※図示

屋内防水

工法	種別	施工箇所	備考
・ P 1 E	・ E - 1		保護層
・ P 2 E	※ E - 2		・ 設ける ・ 設けない

保護層

・ 設ける

・ 設けない

押え金物の材質及び形状

※アルミニウム製 L・30×15×2.0mm程度

屋根排水溝

※図示

6. 改質アスファルトシート防水

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上材料		備考
				種類	使用量	
・ M4S	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2					
	・ M3AS ・ P0AS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS-J3				
	・ M3AS1 ・ M4AS1 ・ P0AS1	・ AS1-T1 ・ AS1-J1				

脱気装置

・ 設ける

・ 設けない

改修用ドレン

・ 設ける

・ 設けない

防湿層

・ 設ける

・ 設けない

仕上塗料

※カラー

・ シルバー

改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 :    —	D /
			図面名称		A3 :    —	0 1
			特記仕様書（建築改修）その1		令和 3 年 - 月 - 日	



[illegible]





9

4. 73℃以上含有保温材等の処理

5. 断熱材

6. 屋上緑化改修工事

7. 透水性アスファルト舗装改修工事

8. 排水性アスファルト舗装

9. 路壁

10. アスファルト舗装

11. PCB含有シーリング材

路壁の構成及び厚さ

路壁材料

試験

路壁締固め度の試験

アスファルト舗装の構成及び厚さ

材料

加熱アスファルト混合物等の種類

表層

基層

シーリング材の施工

試験

舗装の平たん性

サンプリングの採取

現場においてサンプルを採取する

採取箇所

採取箇所数

サンプリングの採取

現場においてサンプルを採取する

採取箇所

採取箇所数

分析回数

1) 採取作業はシーリング等が散逸することのないよう注意して行う

2) シーリング材は目地に打設されている形状のまま5cm程度をカッターナイフで切断し、ただちにポリエチレン製の密封袋に保管し、No.及び採取場所を記入する。サンプルは1袋に1つずつ入れること。

3) カッターナイフの刃は、1つのサンプルを採取する毎に新しい部分に換えること。

4) シーリング材を切除した部分は必要に応じて補修すること。補修材料は特記仕様書による。

5) 皮膚との接触等を避けるため保護手袋及び保護マスクを着用する。

6) 休憩時及び作業終了後には必ず手洗いを行う。

7) 作業後は周囲を清掃し、散逸物を回収する。回収物はサンプリング残渣とその他のごみに分別し、サンプリング残渣と同様にポリエチレン製の密封袋に入れる。

サンプリングの分析

・1次分析(シーリング種類の調査)

「シーリング材種判定及びPCB含有分析の要否判定依頼書」を作成し、採取したサンプルと併せて日本シーリング材工業会に送付し、分析を行うこと。

・2次分析(PCB含有率調査)

専門分析機関にサンプルを送付しPCB含有分析を行うこと。

・施工調査等

調査範囲

処分にあたり、あらかじめ次の事項について調査を行うこと

シーリング使用部位の確認

シーリング長さの確認

施工範囲と工事管理区分の確認

仮設計画

廃棄物等の搬出方法

・除去処理工事

PCBを含有したシーリング材の処理は次によるほか、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)」並びに「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(平成13年法律65号)」により適切に行うこと。

1) 工事に先立ち施工計画書を作成し、監督職員の承認を得ること。

2) シーリング材の散逸防止として、床面、開口部、換気口等に養生を行い、作業区域からの飛散防止措置をとること。

3) 作業員は保護マスク及び保護手袋を着用すること。

4) シーリング材はカッターナイフ等を用い、下地が露出するまで極力切除する。

5) 除去工事後、シーリング材及び散逸物を回収しポリエチレン製の密閉袋に入れ保管容器に入れること。保管容器の形状、材質等は保管量、保管場所を考慮し、監督職員の承認を得たものとする。

6) 除去及び回収状況について監督職員の検査を受けること。

7) 工事着工後、設計図書によりがたい場合、又は不測の事象が発生した場合は監督職員と協議する。

別表-1 設備工事との工事区分表

○印は本工事範囲とする

工 事 内 容

本 工 事

電気設備工事

機械設備工事

機 器 の 基 礎

電 気 関 係

配電盤・制御盤の基礎

屋内

屋外

屋上

テレビアンテナ基礎

避雷針の基礎

特記した基礎

機 械 関 係

屋内設備

屋上設備(梁台、アンカーボルトを除く)

屋外設備( )

梁台・アンカーボルト

特記した基礎

開 口 部

梁、床、壁

貫通スリーブ

梁、床、壁

貫通部型枠

軽量鉄骨下地壁・天井・床下の切込

埋込形分電盤、端子盤等の型枠

上記開口部の塞し

上記開口部の補強

スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む)

OAフロアー配線器具用

点 検 口

床、壁、天井

外 部 取 付 ガラリ

ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む

防 油 堤

オイルサービスタンクの防油堤、タンク基礎

床下水槽のマンホールふた

ガス漏れ検知器

消火栓組込み機器収納箱内配線整理用端子板

湯沸室の排気フード

本体

取付枠

流 し 台

本体(排水トラップ共)

水栓

浴 槽

身障者用便所手すり

電 気 配 管 配 線

機器付属の制御盤以降の配管配線(接地共)

機器付属の制御盤への電源供給配管配線

自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線

自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線

機器と付属操作スイッチ等との渡り配線

機器と付属操作スイッチ等との渡り配管

機器と付属操作スイッチ

機器と付属操作スイッチの埋込ボックス

煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパー及び排煙口に至る配管配線

小便器用節水装置制御盤以降の配管配線

自動ドア及び電動シャッターなどの制御部への電源供給

自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ

防火扉リリース

電極棒

配線ビッド及びふた

別途機器などへの接続

シ ス テ ム 天 井

ボード・カバー

照明ライン設備プレート

空調ライン設備プレート

電 気 錠

電気錠及び通電金具

テンキー及び制御盤

浄 化 槽

杭工事

土工事

基礎工事

電気工事

水送りモーターメーターの配線

水送りモーターメーターの配線の結線と調査

工事名称

事務棟2階トイレ改修工事

図面名称

特記仕様書(建築改修)その6

(有)白濱建築設計事務所

1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳

縮 尺

A2: A3:

図面番号

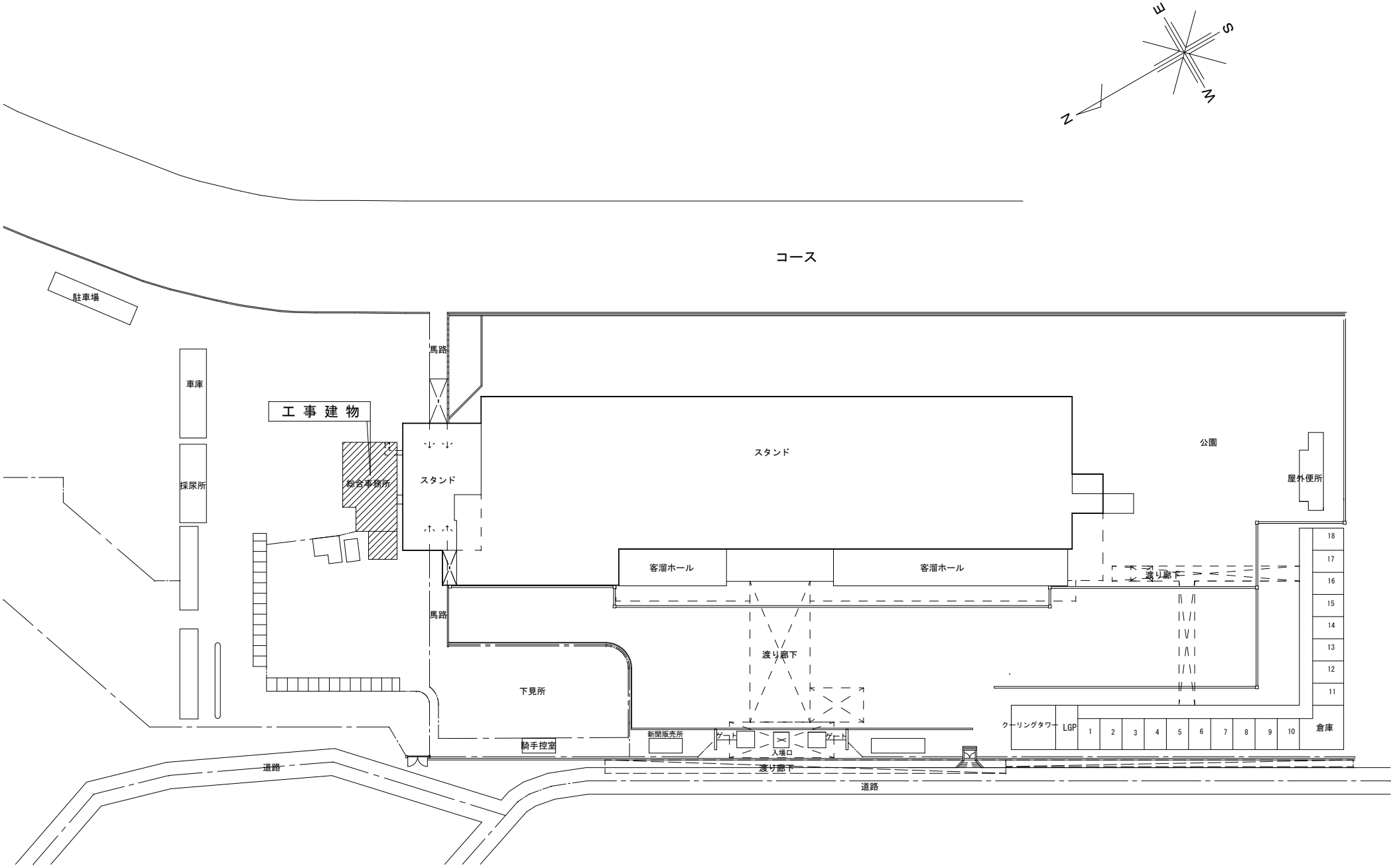
D 06

令和3年-月-日



工事場所

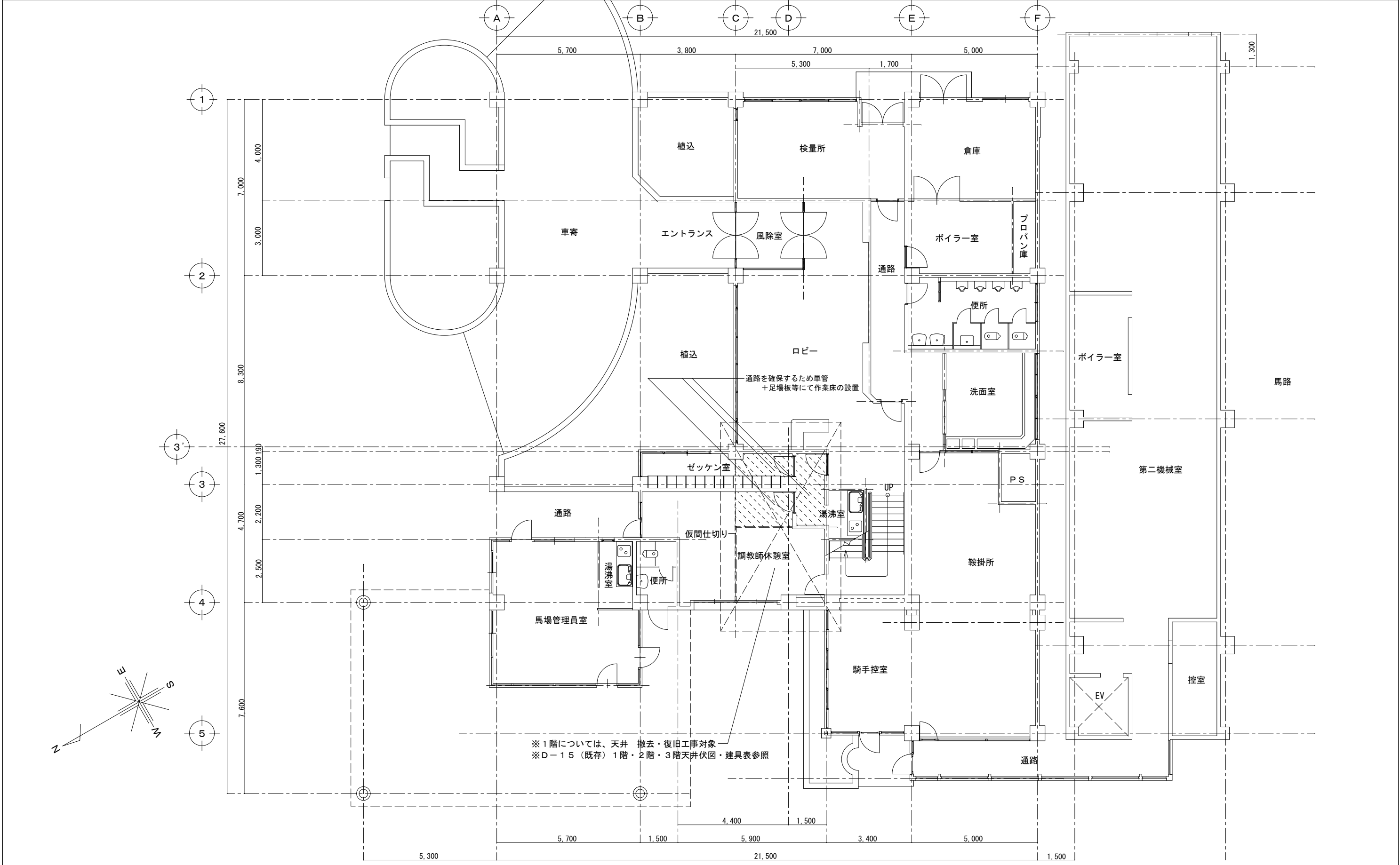
付近見取図



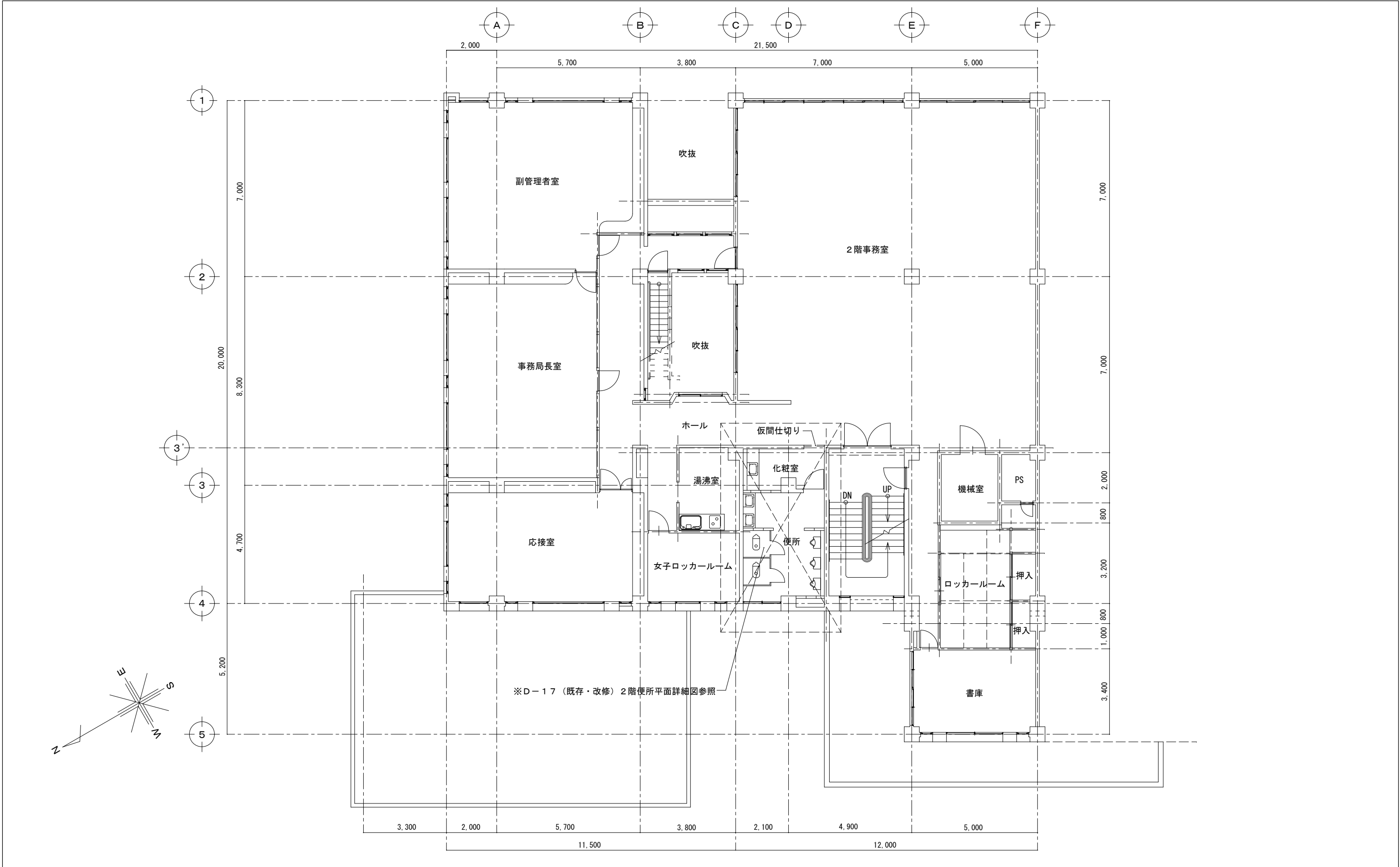
配置図 1 : 800

			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/800	D
			図面名称		A3 : 71%縮小	07
			付近見取図・配置図		令和 3 年 - 月 - 日	

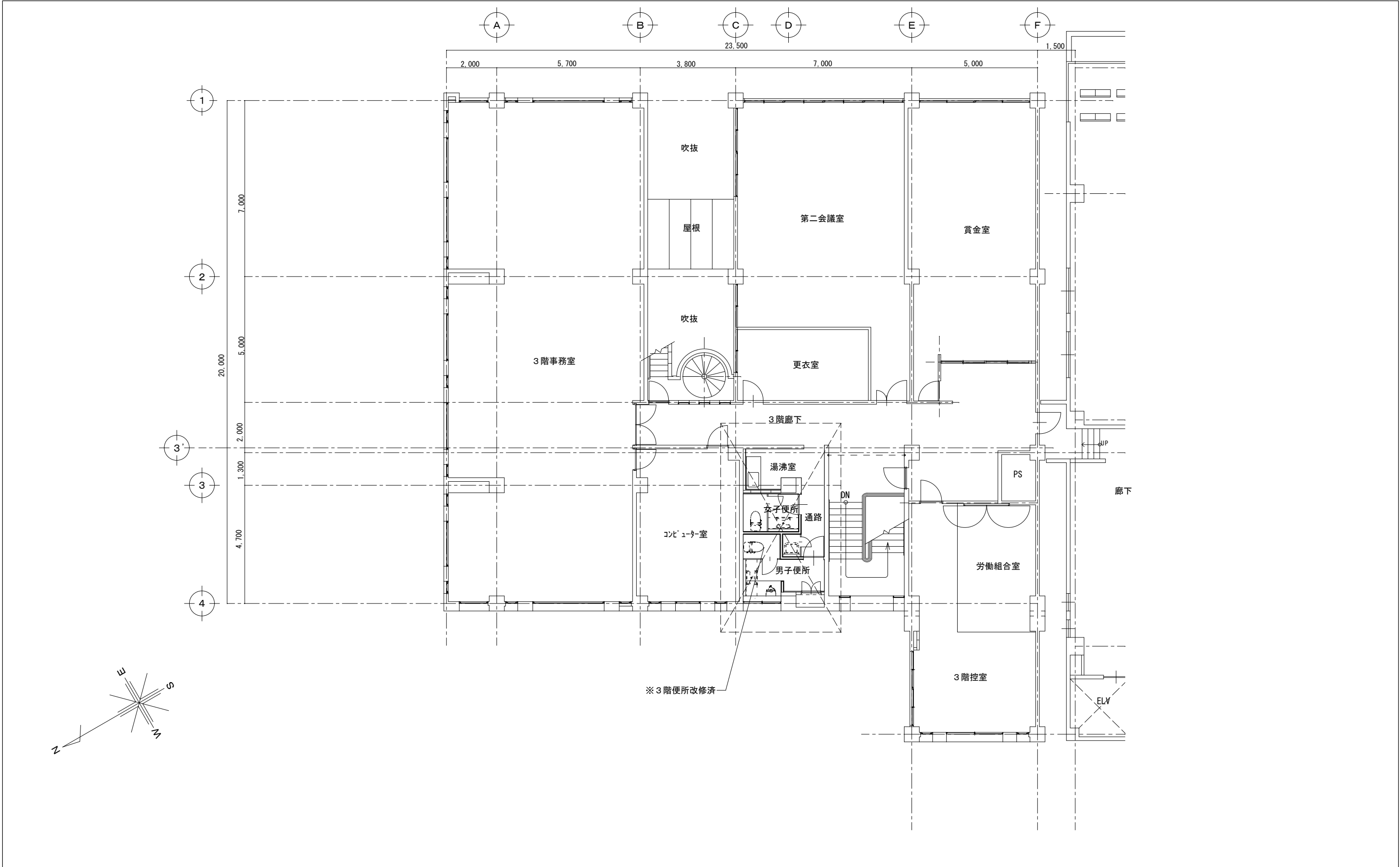




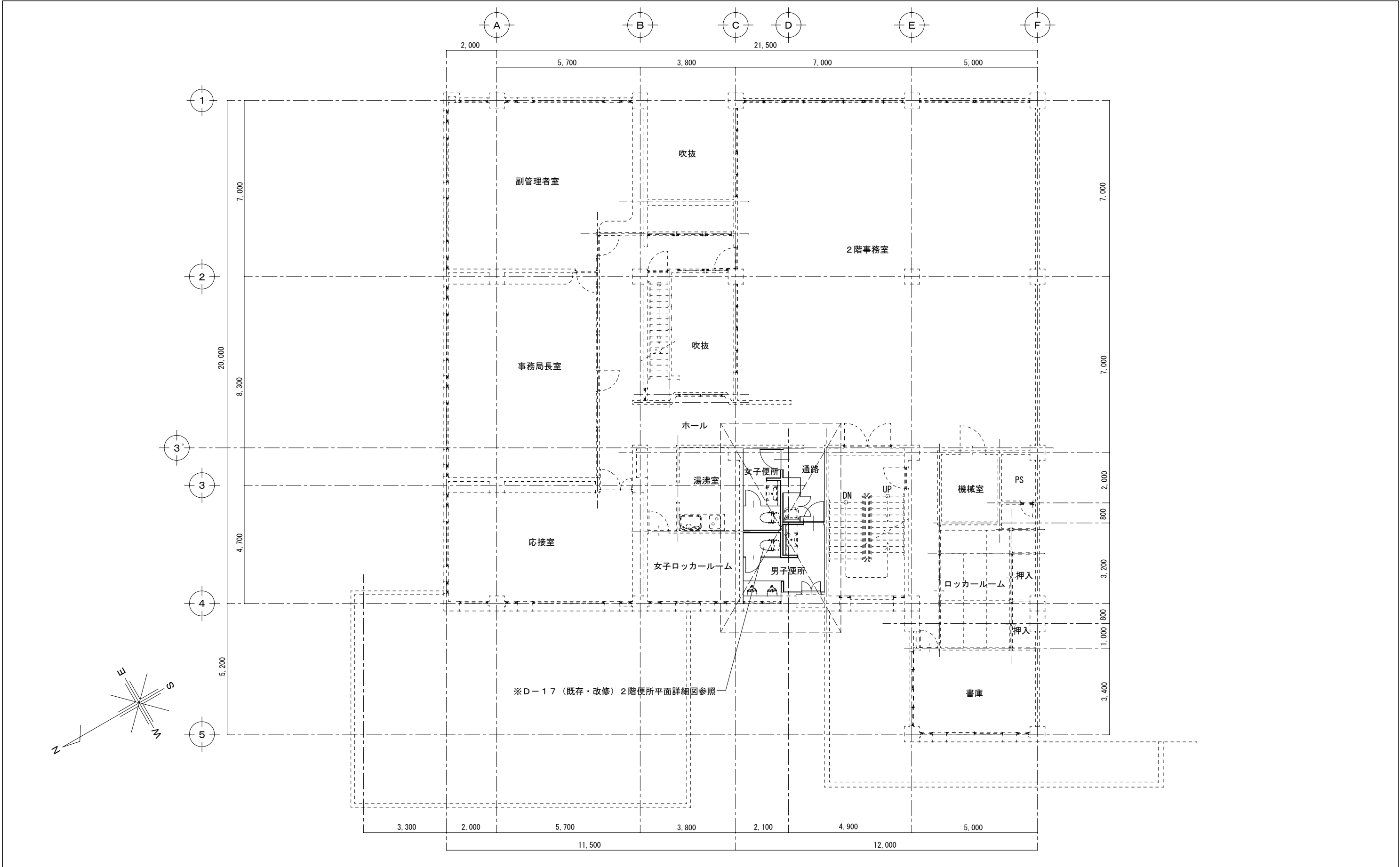
			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	D
			図面名称		A3 : 71%縮小	08
			(既存) 1階平面図		令和 3 年 - 月 - 日	



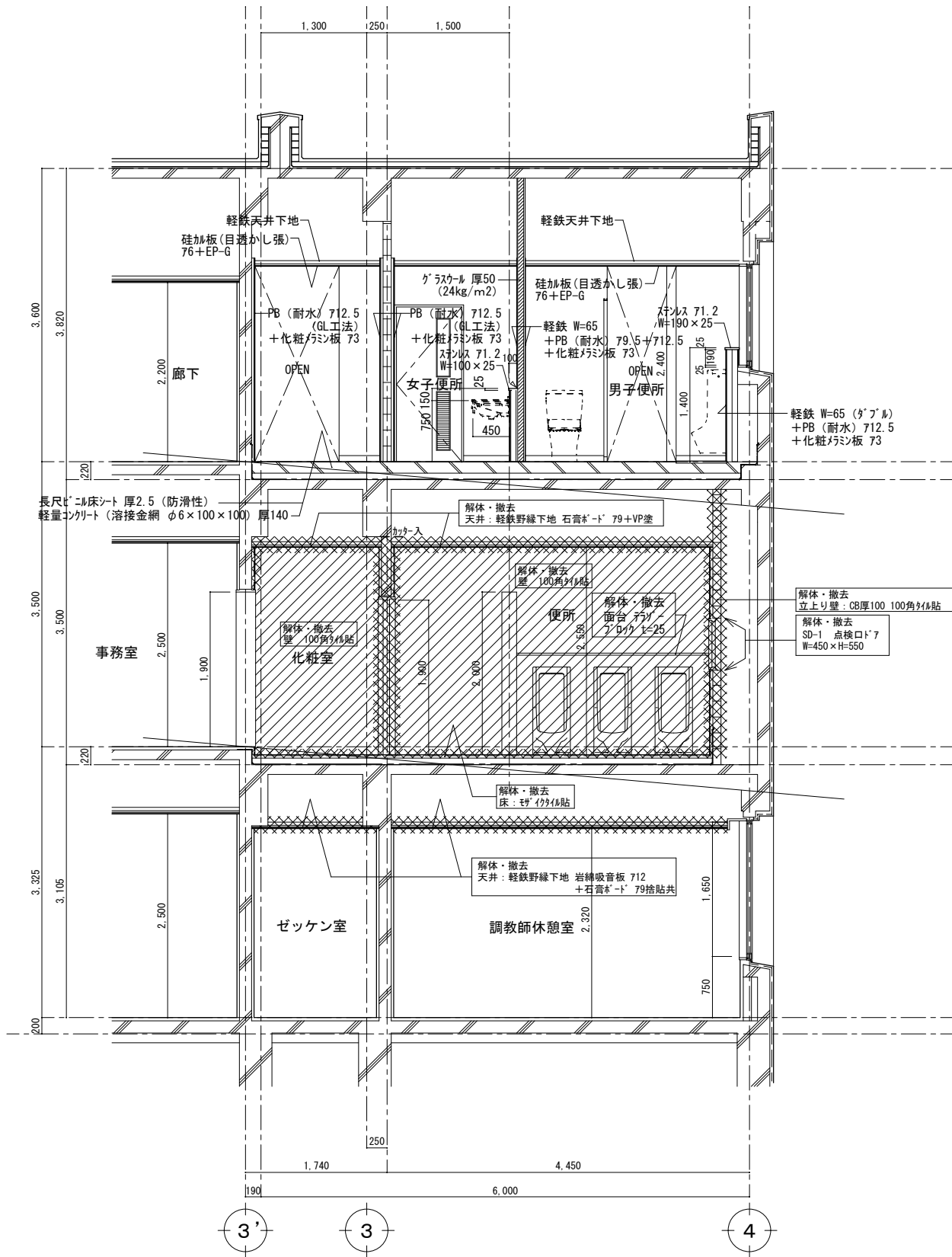
			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	D
			図面名称		A3 : 71%縮小	09
			(既存) 2階平面図		令和 3 年 - 月 - 日	



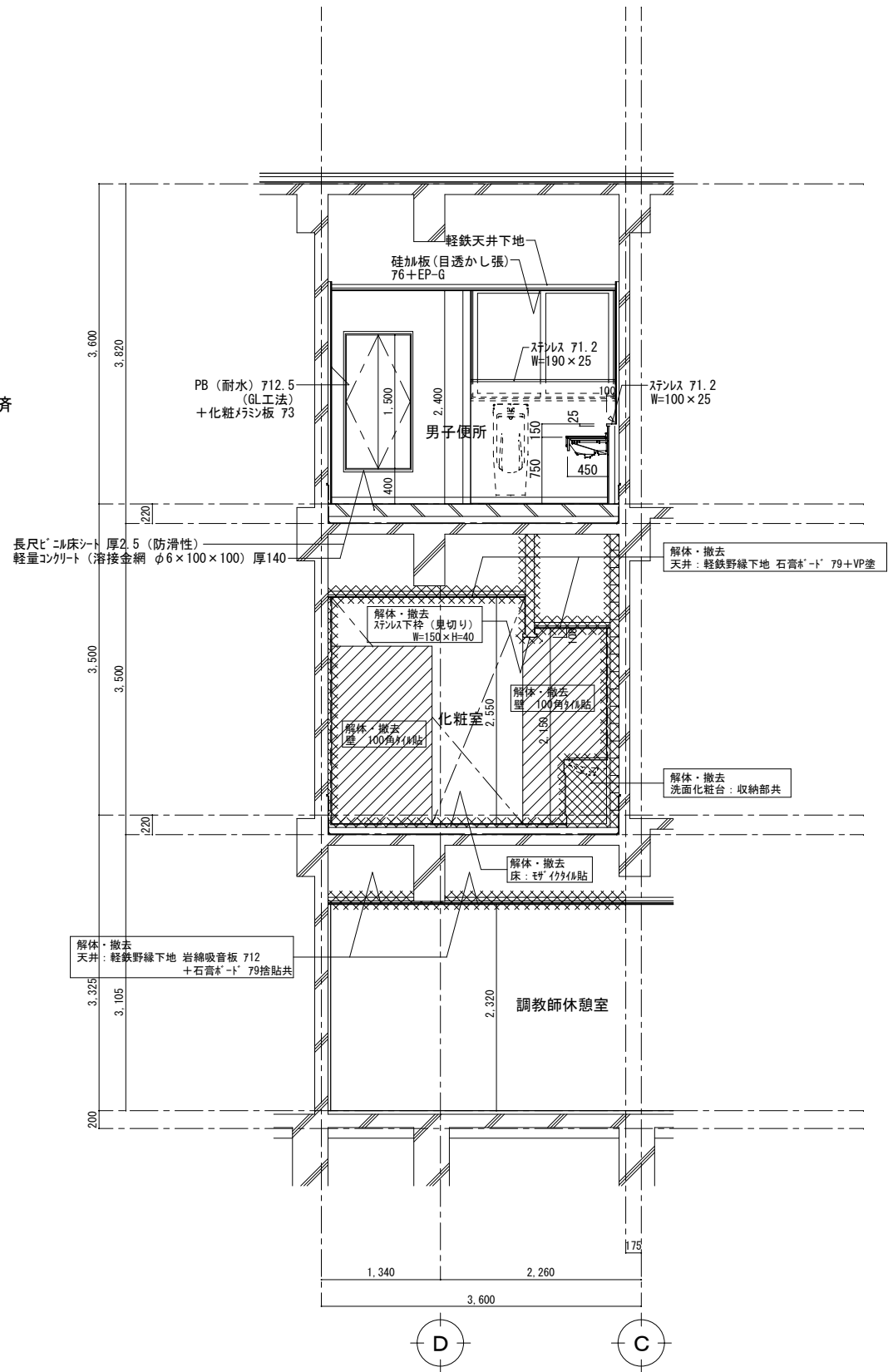
			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	D
			図面名称		A3 : 71%縮小	10
			(既存) 3階平面図		令和 3 年 - 月 - 日	



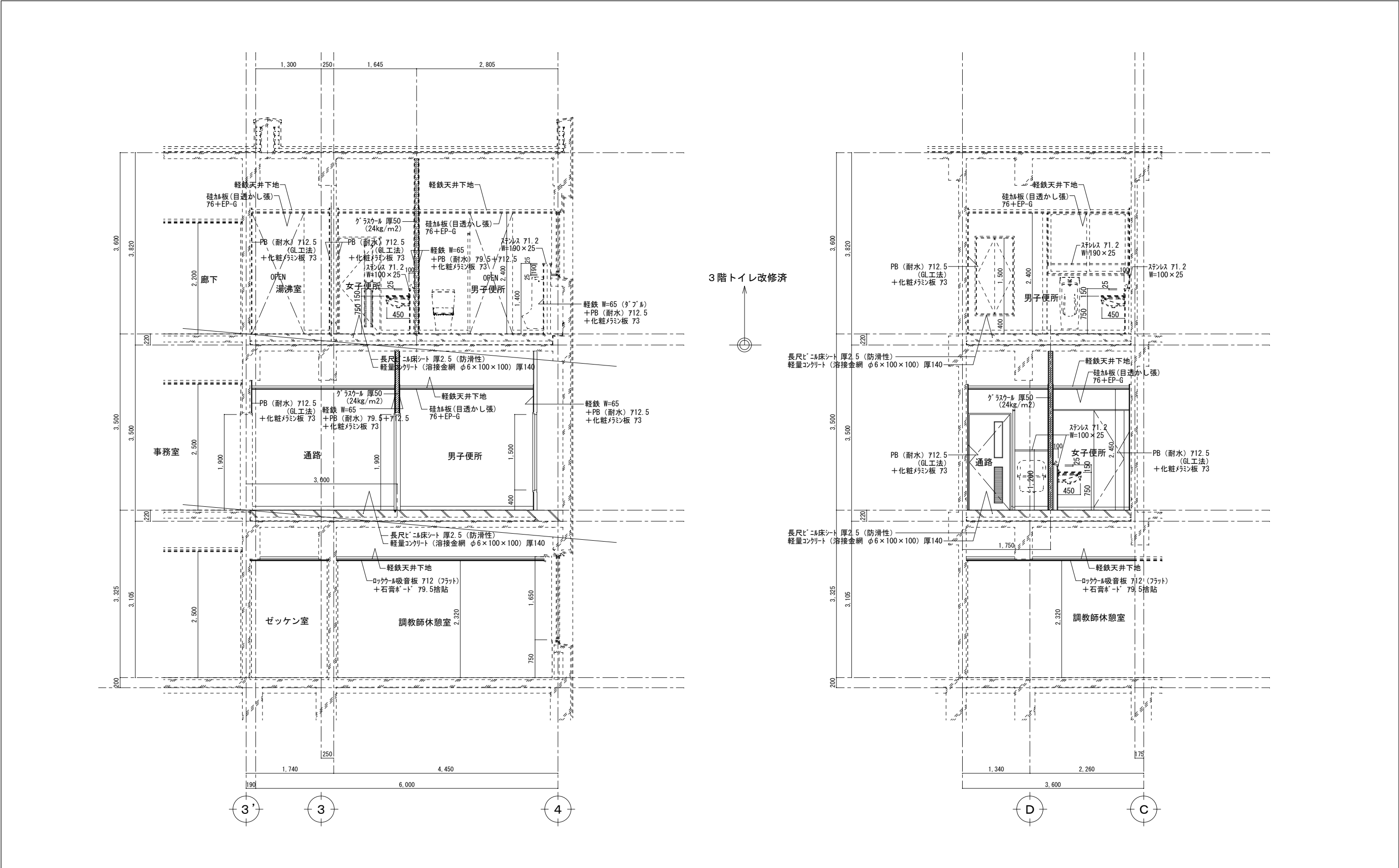
			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	D
			図面名称		A3 : 71%縮小	1 1
			(改修) 2階平面図		令和 3 年 - 月 - 日	



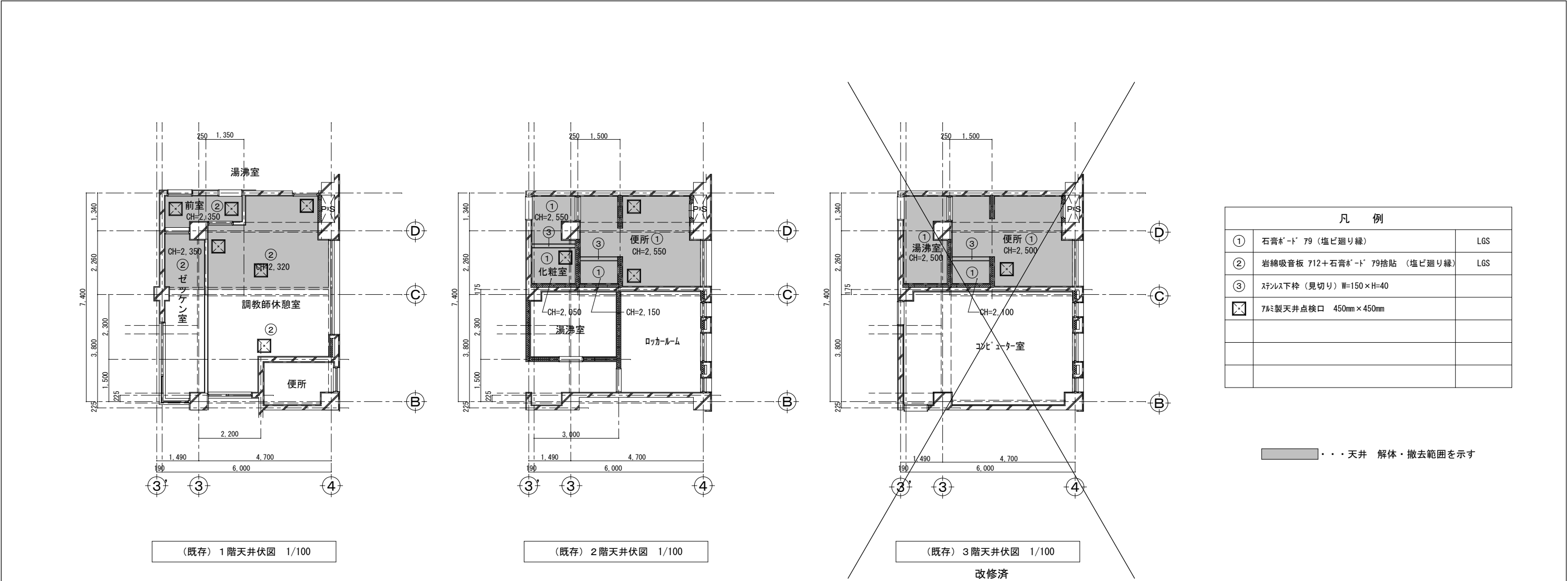
3階トイレ改修済

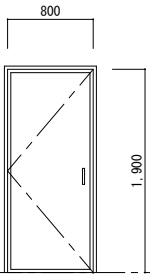
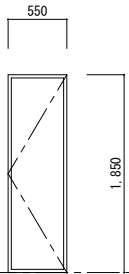
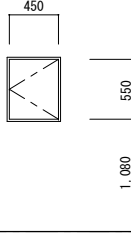


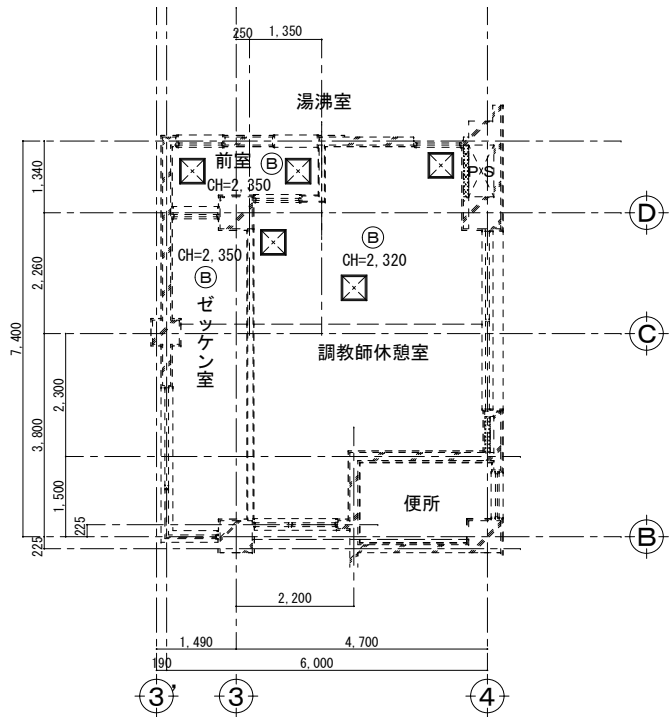
			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/50	D
			図面名称		A3 : 71%縮小	1 2
			(既存) 便所矩計図		令和 3 年 - 月 - 日	



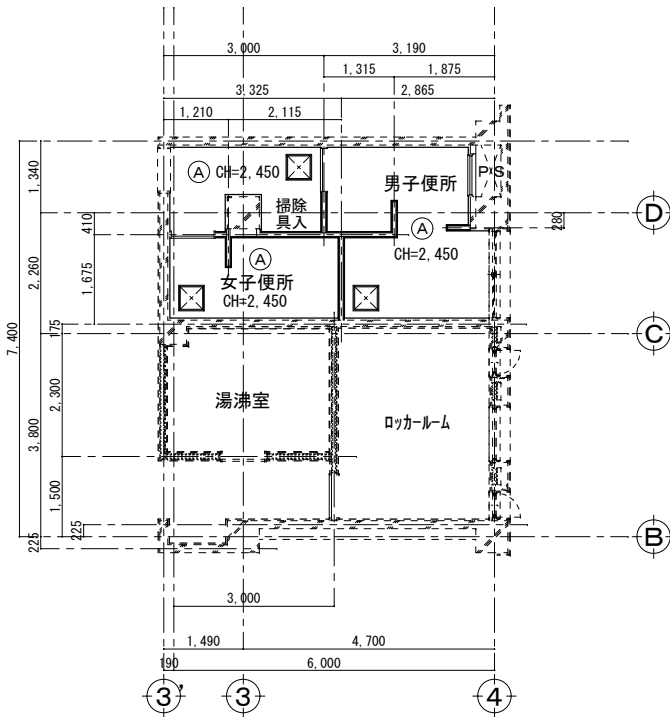
			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/50	D
			図面名称		A3 : 71%縮小	13
			(改修) 便所矩計図		令和 3 年 - 月 - 日	



符号		数量	撤去 <div><div>1</div><div>WD</div></div>		1	撤去 <div><div>2</div><div>WD</div></div>		2			撤去 <div><div>1</div><div>SD</div></div>		1							
撤去建具																				
			▽ F L				▽ F L				▽ F L									
			型式	材質	片開きドア		木製		片開きドア（ブース）		木製				点検口ドア		スチール製			
			使用ヶ所		2 階便所				2 階便所						2 階便所					
			硝子	仕上	ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ											
額縁	見込	木製 3 方枠共撤去		4 0				4 0				スチール 4 方枠共撤去								
金物																				
備考																				
											工事名称				(有)白濱建築設計事務所		縮 尺		図面番号	
											事務棟 2 階トイレ改修工事				1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳		A2 : 1/100		D	
											図面名称						A3 : 71%縮小		1 4	
											(既存) 1 階・2 階・3 階天井伏図・建具表						令和 3 年 - 月 - 日			



(改修) 1階天井伏図 1/100

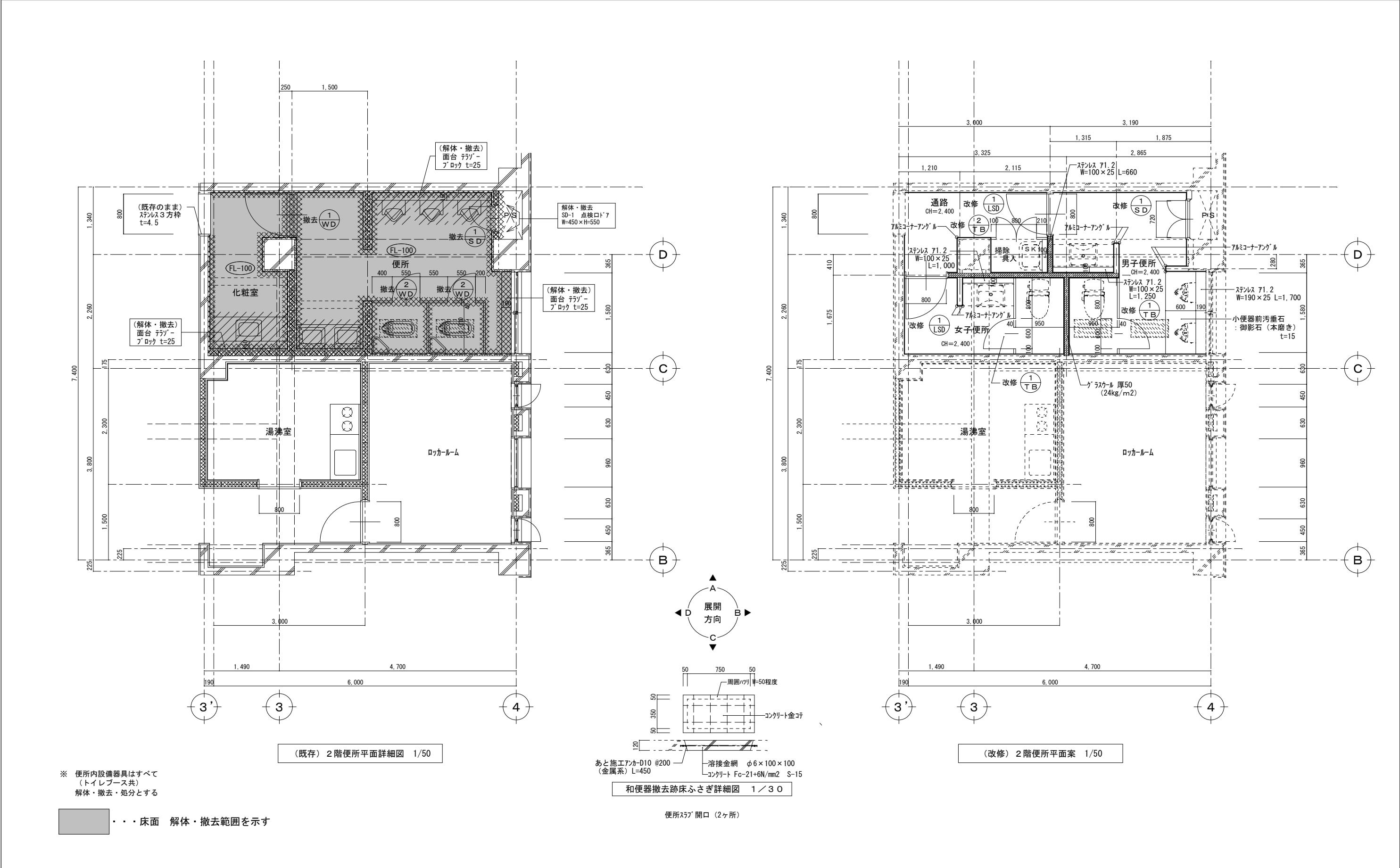


(改修) 2階天井伏図 1/100

凡 例		
Ⓐ	無石棉ケイ酸カルシウム板（目透シ貼）厚6+EP-G塗り （塩ビ廻り縁）	LGS
Ⓑ	ロッカールーム吸音板 712（フラット）+石膏ボード 79.5捨貼 （塩ビ廻り縁）	LGS
☒	7M製天井点検口 450mm×450mm ※位置については現場にて、設備と協議の上で 決定する。	

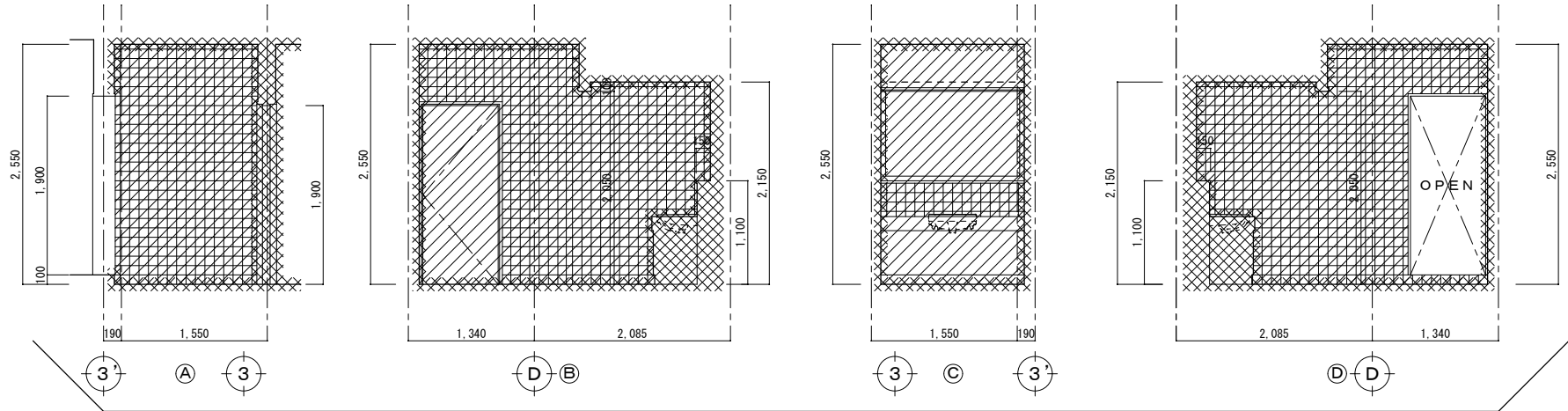
符号	数量	改修	2	改修	1	改修	2	改修	1		
		<div><div><div><div><div><div></div><div>1</div><div>LSD</div></div></div><div></div></div></div></div>		<div><div><div><div><div><div></div><div>1</div><div>S D</div></div></div><div></div></div></div></div>		<div><div><div><div><div><div></div><div>1</div><div>T B</div></div></div><div></div></div></div></div>		<div><div><div><div><div><div></div><div>2</div><div>T B</div></div></div><div></div></div></div></div>			
新規建具											
	型式	材質	片開きドア	鋼製軽量建具 スチール 70.6	両開き戸（点検口）	スチール 71.6	トレバース	フラッシュ（ベーパーコート下地）	トレバース	フラッシュ（ベーパーコート下地）	
	使用ヶ所	2階（男・女）便所出入口		2階男子便所		2階（男子・女子）便所		2階通路掃除具入			
	硝子	仕上	型板ガラス 74	焼付塗装	SOP		メラミン樹脂化粧合板フラッシュ		メラミン樹脂化粧合板フラッシュ		
	額縁	見込	スチール製 71.6 3方枠	厚：30 枠：120	80		40		40		
金物		レバーハンドル・ドアチャック・ステンレス丁番・戸当り		ステンレス丁番・点検口用錠・付属金物一式		7Mミエッジ・ステンレス巾木・表示錠・SUS頭カギ 40×20・壁付金物		7Mミエッジ・ステンレス巾木・表示錠・SUS頭カギ 40×20・壁付金物			
備考		付属金物一式				ステンレス丁番・ラッチ錠・ステンレス取手・ステンレス把手・帽子掛戸当り・付属金物一式		ステンレス丁番・ラッチ錠・ステンレス取手・ステンレス把手・付属金物一式			
						工事名称		(有)白濱建築設計事務所		縮 尺	図面番号
						事務棟2階トイレ改修工事		1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳		A2 : 1/100	D
						図面名称				A3 : 71%縮小	15
						(改修) 1階・2階・3階天井伏図・建具表				令和 3 年 - 月 - 日	



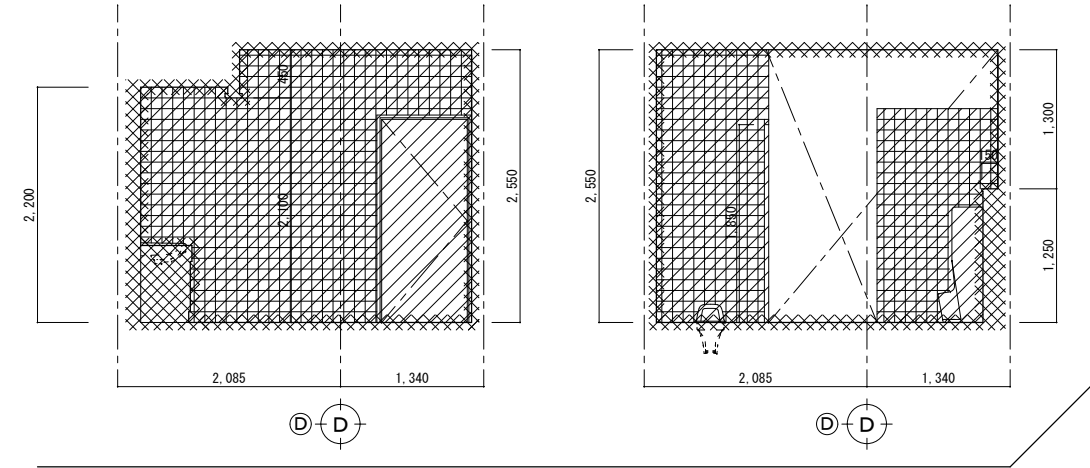
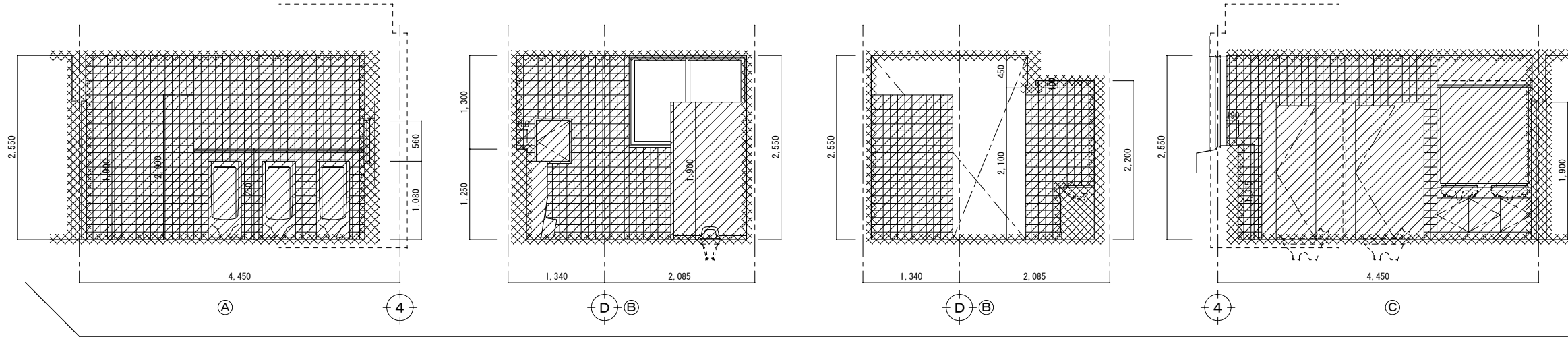


			工事名称 事務棟2階トイレ改修工事	(有)白濱建築設計事務所 1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	縮尺	図面番号
					A2 : 1/30・50	D
					A3 : 71%縮小	16
					令和3年 - 月 - 日	
			図面名称 (既存・改修) 2階便所平面詳細図			

室 名	2 階化粧室
床	ｱｽﾌﾙﾄ防水（6層）＋軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ 750 ＋磁器質ﾃｲﾙｲﾀｲﾙ貼（解体・撤去 軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ残し）
巾 木	
壁	半磁器質100角ﾀｲﾙ貼（解体・撤去） 下り壁：軽鉄下地＋石膏ﾎｰﾄﾞ 79＋OP（解体・撤去）
天 井	軽鉄下地（吊りﾎﾞﾙﾄ流用） 石膏ﾎｰﾄﾞ 79（ｼﾞｮｲﾝﾄ工法）＋OP（解体・撤去）
備 考	ﾗｲﾝｶﾞｰ：ﾃﾗｺﾞﾌﾞﾛｯｸ 725 W=150（解体・撤去） 洗面化粧台（解体・撤去）

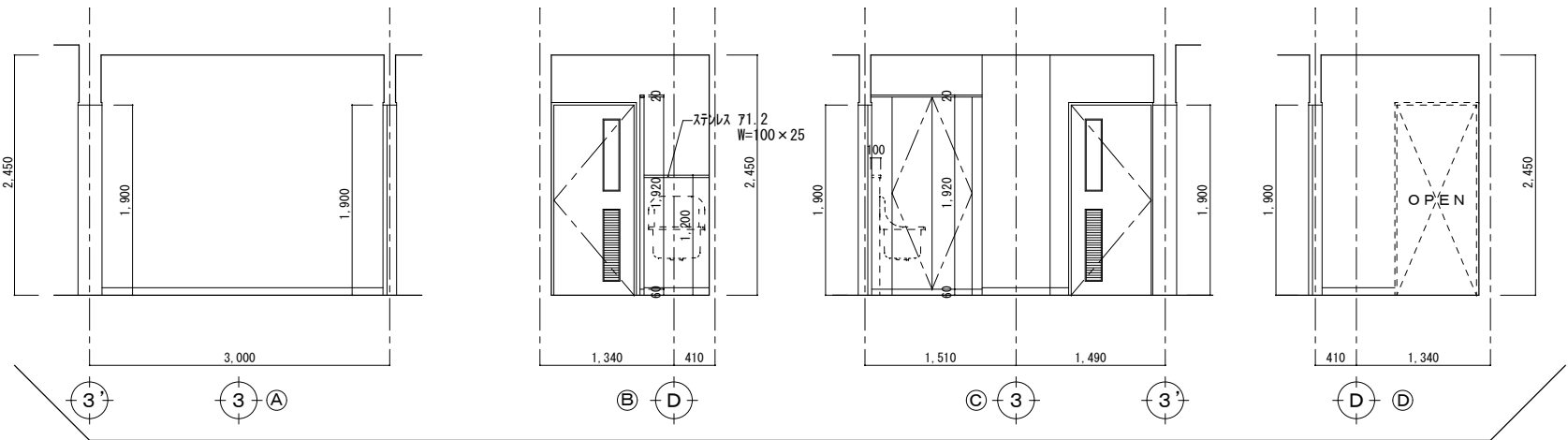


室 名	2 階便所
床	ｱｽﾌﾙﾄ防水（6層）＋軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ 750 ＋磁器質ﾃｲﾙｲﾀｲﾙ貼（解体・撤去 軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ残し）
巾 木	
壁	半磁器質100角ﾀｲﾙ貼（解体・撤去） 下り壁：軽鉄下地＋石膏ﾎｰﾄﾞ 79＋OP（解体・撤去）
天 井	軽鉄下地（吊りﾎﾞﾙﾄ流用） 石膏ﾎｰﾄﾞ 79（ｼﾞｮｲﾝﾄ工法）＋OP（解体・撤去）
備 考	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ：ﾃﾗｺﾞﾌﾞﾛｯｸ 740（解体・撤去） ﾗｲﾝｶﾞｰ：ﾃﾗｺﾞﾌﾞﾛｯｸ 725 W=190・W=150（解体・撤去） 洗面化粧台（解体・撤去） ※ 便所内設備器具はすべて解体・撤去（ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ共）



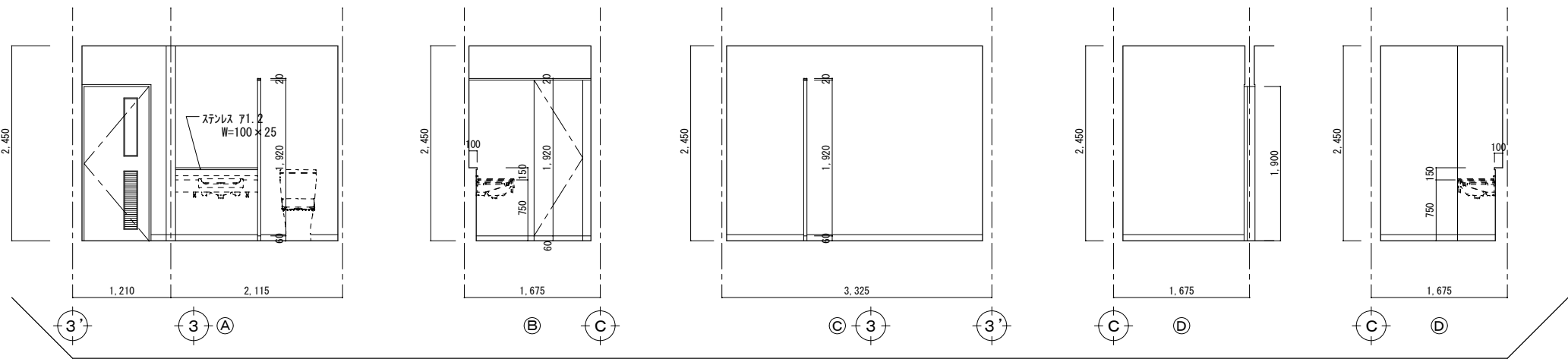
			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/50	D
			図面名称		A3 : 71%縮小	1 7
			(既存) 2階便所展開図		令和 3 年 - 月 - 日	

室 名	2 階便所通路
床	長尺ビニル床シート 厚2.5（防滑性） （耐湿工法） ＋軽量コンクリート（溶接金網 φ6×100×100）厚140
巾 木	ソト巾木 H=75
壁	PB（耐水）712.5（GL工法）＋化粧タタミ板 73 （LGS W=65型下地） PB（耐水）712.5＋化粧タタミ板 73 （LGS W=65型下地：ｽｽﾞﾞ下ﾏﾃﾞ） 通路～便所間 PB（耐水）79.5＋712.5（ｽｽﾞﾞ下ﾏﾃﾞ）＋化粧タタミ板 73
天 井	LGS 19型下地（吊りボルト流用） 珪加板（目透かし張）76＋EP-G（塩ビ 廻り縁）
備 考	SK（設備）・掃除用具入 ライニング：ｽﾃﾝﾚｽ 71.2 W=100×25 トイレース



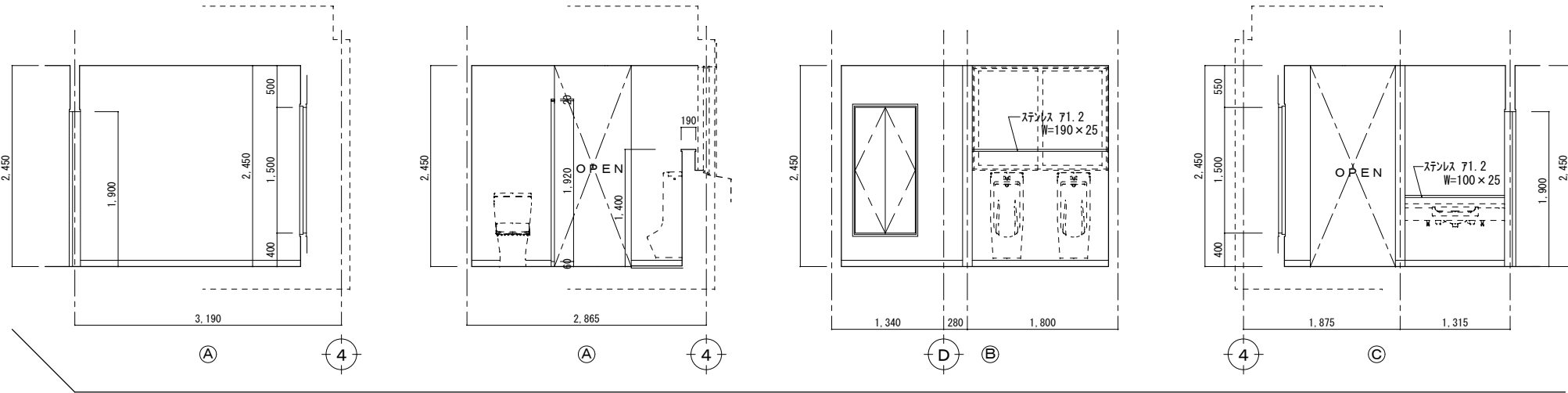
※ 通路～便所間間仕切り壁は グラスブロック 750 (24kg/m2)

室 名	2 階女子便所
床	長尺ビニル床シート 厚2.5（防滑性） （耐湿工法） ＋軽量コンクリート（溶接金網 φ6×100×100）厚140
巾 木	ソト巾木 H=75
壁	PB（耐水）712.5（GL工法）＋化粧タタミ板 73 （LGS W=65型下地） PB（耐水）712.5＋化粧タタミ板 73 （LGS W=65型下地：ｽｽﾞﾞ下ﾏﾃﾞ） 便所間・通路～便所間 PB（耐水）79.5＋712.5（ｽｽﾞﾞ下ﾏﾃﾞ）＋化粧タタミ板 73
天 井	LGS 19型下地（吊りボルト流用） 珪加板（目透かし張）76＋EP-G（塩ビ 廻り縁）
備 考	手洗いかounter（設備） ライニング：ｽﾃﾝﾚｽ 71.2 W=100×25 トイレース



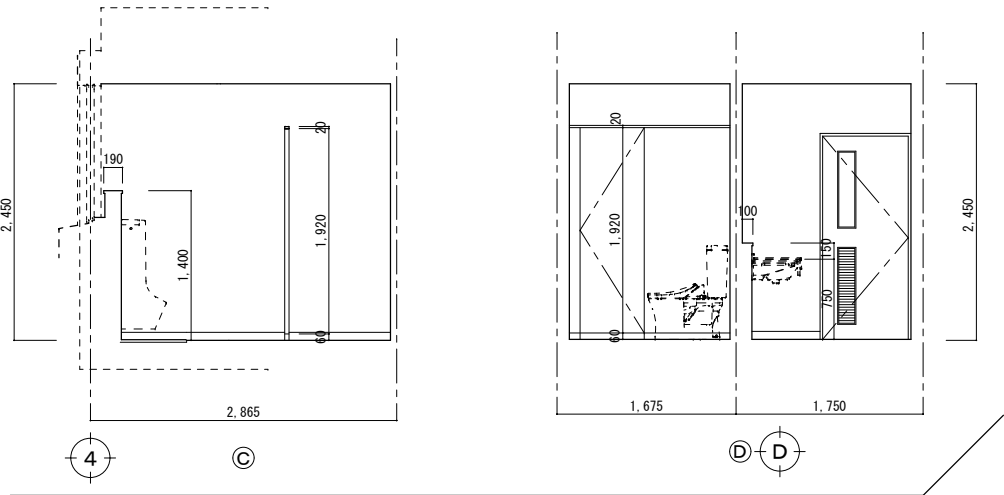
※ 便所間・通路～便所間間仕切り壁は グラスブロック 750 (24kg/m2)

室 名	2 階男子便所
床	長尺ビニル床シート 厚2.5（防滑性） （耐湿工法） ＋軽量コンクリート（溶接金網 φ6×100×100）厚140 小便器前汚垂石：御影石（本磨き）t=15
巾 木	ソト巾木 H=75
壁	PB（耐水）712.5（GL工法）＋化粧タタミ板 73 （LGS W=65型下地） PB（耐水）712.5＋化粧タタミ板 73 （LGS W=65型下地：ｽｽﾞﾞ下ﾏﾃﾞ） 便所間・通路～便所間 PB（耐水）79.5＋712.5（ｽｽﾞﾞ下ﾏﾃﾞ）＋化粧タタミ板 73
天 井	LGS 19型下地（吊りボルト流用） 珪加板（目透かし張）76＋EP-G（塩ビ 廻り縁）
備 考	手洗いかounter（設備） ライニング：ｽﾃﾝﾚｽ 71.2 W=190×25・W=100×25 トイレース

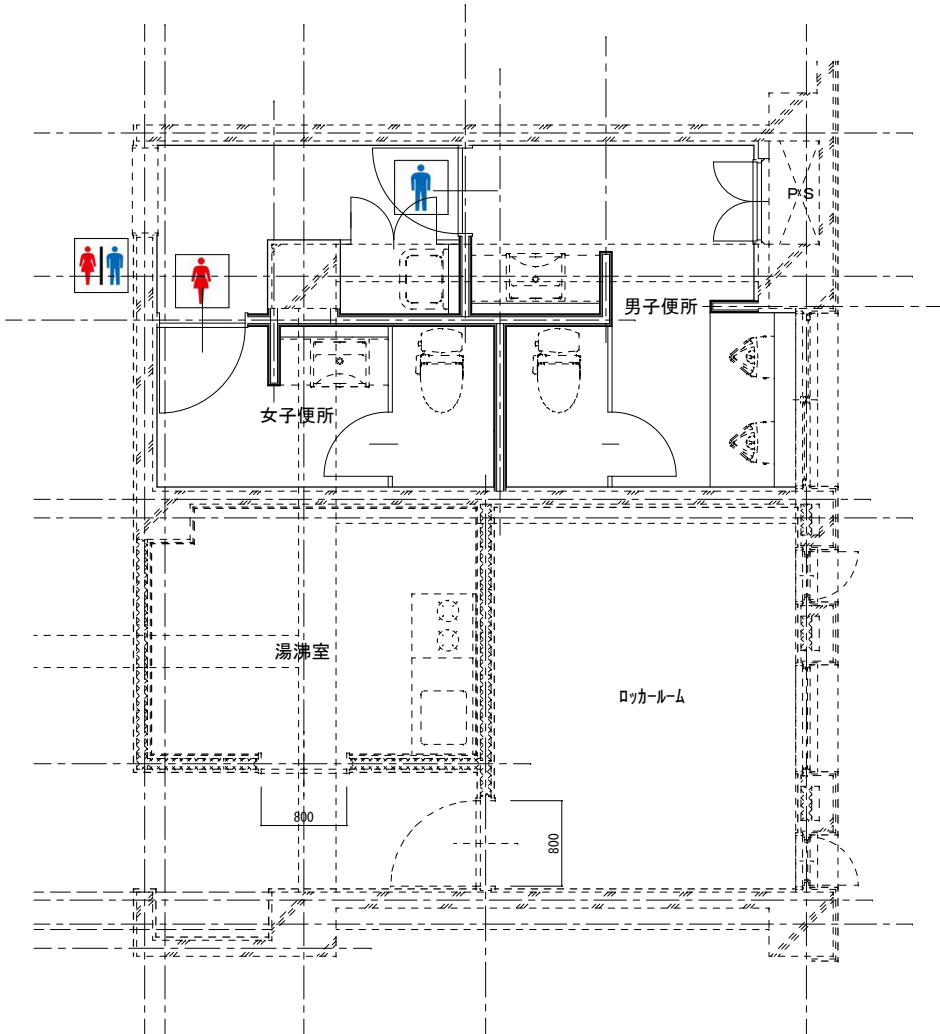





※ 便所間・通路～便所間間仕切り壁は グラスブロック 750 (24kg/m2)

		工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
		事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2：1/50	D
		図面名称		A3：71%縮小	18
		(改修)2階便所展開図ー1		令和3年ー月ー日	



			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟 2 階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/50	D
			図面名称		A3 : 71%縮小	1 9
			(改修) 2 階便所展開図ー 2		令和 3 年 - 月 - 日	

<div></div> <div>2階 サイン配置図 1/50</div>			トイレサイン詳細			1/10	
			男子便所		女子便所		
			(2階) 入口正面 (平付 1ヶ所) 高さ FL+1500 (芯)		(2階) 入口正面 (平付 1ヶ所) 高さ FL+1500 (芯)		
			表示基盤：アクリル板 t=5 UV印刷 (ピクト)		表示基盤：アクリル板 t=5 UV印刷 (ピクト)		
			 <div>200</div>		 <div>200</div>		
			便所案内板		便所案内板		
			通路からの入口右側壁面 (平付 1ヶ所) 高さ FL+1500 (芯)				
			表示基盤：アクリル板 t=5 UV印刷 (ピクト)				
 <div>200</div>							
便所案内板							

事務棟 2階トイレ改修工事

工事特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

佐賀県鳥栖市江島町字西谷

2. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一区分	備 考
事務棟	RC造	3	1266.97		

3. 工事項目及び工事科目 (工事項目標の○に印の付いたものが対象工事)

工 事 科 目	施 工 範 囲 別	工 事 種 目			
○電灯設備	改築一式				
・ 動力設備					
・ 电热設備					
・ 雷保護設備					
・ 受変電設備					改築一式
・ 電力貯蔵設備					
・ 発電設備					
・ 構内情報通信網設備					
・ 構内交換設備					
・ 情報表示設備					
・ 映像・音響設備					
・ 拡声設備					
○誘導支援設備	改築一式				
・ テレビ共同受信設備					
・ 監視カメラ設備					
・ 駐車場管制設備					
・ 防犯・入室管理設備					
○自動火災報知設備	改築一式				
・ 中央監視制御設備					
・ 構内配電線路					
・ 構内通信線路					
○撤去工事	改築一式				
・ 仮設工事					

4. 指定部分

○無 ・有

5. 設備概要

設備方式は、○に印の付いたものを該当項目とする。

電灯設備	○照明器具 2.E P S	○一般照明 ・非常照明（・電源内置 ・電池別置） ・有 ・無
動力設備	1.設備概要	・空気調和 ・暖房 ・冷房 ・換気 ・給排水 ・消火 ・排煙
雷保護設備	1.避雷部	・突針 ・棟上り導体
受変電設備	1.設備方式 2.型 式	・キュービクル式配置箱 ・開放形配置箱 ・屋内型 ・屋外型
電力貯蔵設備	1.型 式	・直流電源装置 ・UPS装置
発電設備	1.型 式 1.型 式 1.型 式	・原動機（ ）・発電機（ ）相（ ）線式（ ）V 定格出力（ ）KVA ・太陽光発電装置 太陽電池アレイ公称出力（ ）KVA ・（ ）発電装置 （ ） KVA
通 信・情 報 設 備	1.構内情報通信網装置	・ネットワーク管理装置 ・ファイヤウォール ・リピータ ・ルータ
	2.構内交換装置	・電子交換機 ・ボタン電話装置
	3.情報表示装置	・マルチサイン装置 ・情報表示装置 ・チャイム ・時刻表示装置 ・出退表示装置
	4.映像・音響装置	・映像装置 ・音響装置
	5.拡声装置	・一般放送用 ・非常放送用
	⑥誘導支援装置	・音声誘導装置 ・インターホン ○呼出し装置
	7.テレビ共同受信装置	・UHF ・BS ・CS ・有線（CATV）
	8.テレビ電波障害防止装置	・有 ・無
	9.監視カメラ装置	・カメラ ・ビデオモニタ ・タイムラプスVTR ・デジタルレコーダ
	10.駐車場管制装置	・管制装置 ・検知器 ・信号灯 ・警報灯 ・発着機
自 動 火 災 報 知 装 置	11.防犯・入室管理装置・制御装置	・制御装置
	⑦自動火災報知装置	○P型受信機 ・R型受信機
	13.自動閉鎖装置	・防火戸用 ・防災シット用 ・防煙ダンパ用
	14.非常警告装置	・鳴込形 ・露出形
	15.ガス漏れ火災警報装置	・液化石油ガス用 ・都市ガス用
	中央監視制御設備	1.方 式 ・警報盤 ・簡易型監視制御 ・監視制御
	構内配電線路	1.ふ設方式 ・架空線式 ・地中埋込式
	構内通信線路	1.ふ設方式 ・架空線式 ・地中埋込式

II 工事仕様書

1 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事は、国土交通省官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」（平成31年版）」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）」（平成31年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び「公共建設設備工事標準規程（電気設備工事編）」（平成31年版）」（以下、「標準規程」という。）による。

(2) 機械設備工事及び建築工事を含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。  
なお、機械設備工事の工事仕様書は（ / ）図、建築工事の工事仕様書は（ / ）図による。

(3) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合、排出ガス削減対策として、排出ガスを削減するための設計であることにより、通常の建設機械と比較して、排出ガスの発生量を低減させることができるものであることを指す。  
※ 「排出」が対策型建設機械とは、指定要項に基づき指定された排出ガスを削減するための設計であることにより、通常の建設機械と比較して、排出ガスの発生量を低減させることができるものであることを指す。

2 特記仕様

(1) 項目は、番号に●印のついたものを適用する。

(2) 特記事項のうち複数の項目から選択する事項は、○に印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
● 材料・機材の品質等	(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常劣りなき品質及び性能を有するものとする。 (2) 本工事において採り示す材料は使用する場合の材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥までの事項を満たすものとし、この証明と必要な資質又は外部保証機関による品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等が記載されているものは、証明と資質等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整理していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
● 環境への配慮	1) 「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和2年）」による特定調達品目の場合は、判断基準等を満たすものとする。 2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所定の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、紙衝釘、断熱材、塗料、仕上剤は、アセトアルデヒドとホルムアルデヒドを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放出量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可燃性（フタル酸ジノールブチル酸及びフタル酸ジノールエチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を有し）が顕著でない材料を使用する。 ④この材料を使用して作られた家具、書架、装飾品、その他什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発色が極めて少ない材料を使用したものとする。 3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放出量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、別区分（第二種）とは③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
● 電気工仕事の種類	○事業用電気工仕事
● 電気保安技術者	○一般用電気工仕事 工事現場に○電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工仕事の保安の業務を行うものとする。 契約 ○要 ○不要 要約電力500kWh以上の電気工仕事においても、第一種電気工事士により施工を行う。 本工事に必要な工用電力、水及び公害その他への諸手續などの費用は、すべて該業者の負担とする。 構内につくことが ○できない である ・ 設 け る （ 形 ） ・ 設 け な い 仮設機項目（・受電電圧 ・ 発電電圧） 仮設機期間（・開始 ・ 終了） 改修機率仕事情によるほか、下記による。 事前調査 ○（本工事 ・ 別途工事） 調査項目 ○（既存資料調査 ・ ） 調査範囲（・ 図示 ・ ） 調査方法（・ 図示 ○既設図面調査及び目視調査） 非破壊検査（費用は別途） ○ 養 生 既設部分の養生は、汚染又は損傷のないよう適切な方法で行う。 養生範囲（ / ） 図による。 養生方法（ / ） 図による。 ● 足場その他 ○ 仮設的の固定養生等が設置したものとは無関係で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 ・ 内部仮設足場等（ ・ 種 ・ 種 ） ・ 外部仮設足場等（ ・ 種 ・ 種 ） ● 施工区等の取扱い 工事が完成（指定部分に係わる完成を除く）し時点では、本工事で作成する施工区等を監督員に提出する。ただし、製作等で原因として提出が必要ないものは、原因に代わるものとしてよい。なお、施工区等の著作権に係わる当該建築物に際する取扱い、は、発注者に移譲するものとする。 使用の形状寸法等は、図面表示と多少相違してもよい。ただし、その場合は、監督員の承認を受ける。 分電盤、制御盤、端子箱等の2次側及び1次側の配管配線経路、配線本数、配線本数、管径等は、図面と相違しても差しつかえない。ただし、監督員の承認を受けるものとする。 ○ 金属製電線管の塗装 露出設備は塗装を行う。 ・ 屋外 ・ 屋内（ ） 屋外的支持金物、ボルト及びナットなどは、溶着塗装等仕上げ又はSUS製とする。 設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築物耐震設計・施工指針2014年版」（独立行政法人建築研究所編）による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承認を受けなければならない。 1) 設計用水平地震力 機器の重量 [N] に、設計用標準水平地震重を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平地震重は、次による。 設計用標準水平地震重 (kN)
● 形状・寸法等	
● 配線本数、管径等	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 設計用水平地震力	
● 配線本数、管径等	

【備考】（※1）水格箱には、オイルタンク等を含む。

・重要機器は次のものを示す。  
○変電設備器 ・ 配、分電盤 ・ 発電設備 ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置  
○交換機 ・ 自動火災警報受信機 ・ 中央監視装置 ・ 通信総合盤

2) 上層階の定義は次による。  
2～6階の場合は最上層1階、7～9階の場合は最上層2階、10～12階の場合は最上層3階、13階以上の場合は最上層4階とする。  
中間階とは、最上層、1階を除く各階で上層階に該当しないものとする。  
3) 設計用耐震地震力  
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。  
④ 重要（※1）の重量は、建築物の重量に、（建築物耐震設計・施工指針2014年版）（独立行政法人建築研究所編）に「事象あるいは同等な設計用地震力」に記入する方法で設計・施工すること。  
想定重量（小・中規模） ・ 中規模 ・ 大規模）  
既設のコンクリート床、壁などの貫通穴の欠けは、図面に特記なき場合は、原則としてダイヤモンドカッターによる。  
なお、特記がある場合も、発注者・建設物主調査を行い、監督員に報告を行うこと。  
製作鉄筋、床裏面鉄筋、天井付鉄筋埋込後の取付けボルト孔、壁面、天井面の欠き等は修繕は、監督員と協議して行う。  
図面に特記なき引張り又は立ち上げ部分及び露出部分の配筋はⅢ（A型）にて保護する。貫通部分の配筋は、金網等にて保護する。

● 照明器具の接地

● 絶縁抵抗測定

○ 接地棒

コードベンダー以外の電気作業員、E・LEP照明器具及び水気のある場所の白熱灯器具は、接地する。但し、二重絶縁構造等、接地の省略が可能ともは、監督官との協議による。  
【対地電圧が交流150V以下のLED照明器具を稼働した場所で施設する場合は、監督官と協議し省略することができる。

取外し再使用機器及び改修に際する回路は、性能確保のための絶縁抵抗測定を行う。  
接地棒の材質は下表による。なお、設置棒EB（14φ）の長さは1500mm以上とする。

接地の種類	記号	接地　　値	
共用接地	E A、C D	EP-0.9（900×900×1.5t）	1枚以上
A種接地	E A	EB（14φ、L=1500）	2本以上
B種接地	E B	EB（14φ、L=1500）	6本以上
C種接地	E C	EB（14φ、L=1500）	6本以上
D種接地	E D	EB（14φ、L=1500）	1本以上
高圧配線用	E L H	EB（14φ、L=1500）	6本以上
常圧低圧用	E L A	EP-0.6（600×600×1.5t）	2枚以上
構内交換機用	E t	EP-0.9（900×900×1.5t）	1枚以上
電話引込口の保安装置	E s t	EB（14φ、L=1500）	2本以上
通　信　用	E s t	EB（14φ、L=1500）	1本以上
通　信　用	E D t	EB（14φ、L=1500）	6本以上
測　定　用	E O	EB（14φ、L=1500）	1本以上

※接地棒は、上記を標準施工とし、抵抗値が基準値を満たさない場合や接地棒施工本数以下で基準値を満たした場合は、監督官と協議すること。

三相可変速度電動インバータ装置の節約効率は、次の数値以上とする。

電動機出力（kW）	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45
節約率（％）	85.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5

【備考】（１）節約効率は、JEM-T 245「汎用インバータの節約効率」により算出した値とする。

（２）節約効率は、JIS C 4212「高効率低圧三相可変速度電動機」の定格電圧200V、IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したものと仮定する。

長さ1m以上の入線しいる電線管には1.2mm以上のビニル保護被覆材を導入し、先行表示を行う。

○図面ケーブルの塗装は、指定色仕上とする。

本工事は「建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律104号）の対象建設工事であり、分別解体、特定建設資材の再生資源化等について適切な処理を行う。ただし、工事契約後にやむを得ない事情により予定した条件により異なる場合は監督職員と協議する。分別解体・再生資源化等の完了時に、以下の事項を書面に「監督職員」に報告する。

1）再生資源化等が完了した年月日

2）再生資源化等をした施設の名称及び住所

3）再生資源化等に要した費用

別添録表

工　程	作　業　内　　　　　容	分　別　解　体　の　方　法
・新築	建築設備工事	・手作業
・増築	・あり	・手作業、機械作業併用
・改修		

特定建設資材廃棄物の種類と再生資源化等をすると施設

特定建設資材廃棄物の種類	再生資源化等をすると施設の名称	所在地
・コンクリート		
・コンクリート及び鉄から成る建設資材		
・木材		
・722701・コンクリート		

再生資源利用計画書及び実施書は、建設副産物情報交換システム（コリス）にて作成し提出すること。

● 廃材の処理

● 特定建設資材の処理

● 再生資材の処理等

● 廃土処理

● 外壁処理

● 繊維シート

● 外壁処理

● 線名札

● バンドホール内のケーブル余長

● 機器の標準取付高さは、図面に特記がない場合は、下表による。

名　　称	標準　点	取付高(mm)	名　　称	標準　点	取付高(mm)		
電	取付用計器	床　上～中心	1,500	表	表　示　器	床　上～中心	天井高×1.9
	分岐開閉器	床　上～中心	1,500		配　付　発　信　器	床　上～中心	600
	分電盤、O・A盤	床　上～中心	1,500		ベル、ブザー・チャイム	床　上～中心	1,500～2,300
	新設置、変換器	床　上～中心	（上層）900以下		警報受信機	床　上～中心	1,300
	閉路開閉器	床　上～中心	1,500		インターホン	床　上～中心	1,300
	電線閉路開閉器ボタン	床　上～中心	1,300		外　部　受　信　用	床　上～中心	標準高さ
	接地棒ボックス	地　上～中心	600		警報受信ボックス（一般）	床　上～中心	300～400
	絶縁ボックス	地　上～絶縁口	1,000		多目的トイレ（簡便）	床　上～中心	1,300～1,500
	ス　イ　ッ　チ	床　上～中心	1,300		多目的トイレ（子供）	床　上～中心	1,000～1,500
	多機能トイレスイッチ	床　上～中心	1,100		多目的トイレ（呼出ボタン）	床　上～中心	900
コンセント（一般）	床　上～中心	300	多目的トイレ整備係席	床　上～中心	1,800		
コンセント（換気扇）	床　上～中心	1,600～2,100	多目的トイレ兼受付	床　上～中心	2,000		
コンセント（便所）	床　上～中心	500	多目的トイレ（兼・椅子）	床　上～中心	1,100～1,500		
コンセント（エアコン）	天井下～上端	200～300	直列ユニット（一般）	床　上～中心	300		
コンセント（台所）	床　上～中心	150	直列ユニット（配管）	床　上～中心	150		
コンセント（庫裏）	床　上～中心	800	縦型洗濯機	床　上～中心	1,400		
コンセント（換気口）	天井下～上端	900	テレビ端子	床　上～中心	150～400		
灯	ブラケット（出入口）	床　上～中心	1,500～2,000	自動販売機取付高	直列ユニット（台所）	台　上～中心	150
	ブラケット（居室）	床　上～中心	1,500～2,000		縦型冷蔵庫	床　上～中心	800～1,500
	ブラケット（講堂）	床　上～中心	2,500		横型冷蔵庫	床　上～中心	800～1,500
	ブラケット（一般）	床　上～中心	2,100		火災受信機（受信器）	床　上～受信部	800～1,500
	ブラケット（壁）	壁　上～中心	150		新　受　信　機	床　上～中心	1,500
地下道誘導灯	床　上～下端	1,500以上	警　報　ベル	床　上～上端	天井高×0.8		
地下道誘導灯	床　上～上端	1,000以下	電　　  音　  灯	床　上～中心	天井高×0.9		
助	半元開閉器	床　上～中心	1,500	自動取物装置（自動開閉）	自動取物装置	床　上～中心	1,500
	床用スイッチ	床　上～中心	1,300		ガラス面検知器（リフガス）	床　上～上端	300
カ	警　  報　  機	床　上～中心	1,800	ガラス面検知器（都市ガス）	ガラス面検知器	天井高～中心	天井高-200
	椅子箱（室内）	床　下～上端	300		検　  地　  用	床　上～中心	500
構内交換機	集合保安装置箱	天井下～上端	200	椅子箱	椅子箱（検知器）	床　上～下端	800
	電話用フットレイト	床　上～中心	150～400		椅子箱（E・P・S・電気型）	床　上～中心	1,500
	電話用フットレイト（台上）	台　上～中心	150				
電気設計計	電気設計計	床　上～中心	1,500	(備考)（天井高）×0.9及び（天井高）×0.8は、天井高が2500～3000の場合に適用する。			
	手　  簿　  計	床　上～中心	天井高×0.9				
	建築設備スベーク	床　上～中心	天井高×0.9				
	警報付スベーク	床　上～中心	1,300				
	椅子箱計	床　上～中心	2,300				

他工事との工事区分表

工 事 内 容		機械工事	電気工事	建築工事	
機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎	屋内		
			屋内		
			屋上		
	機械関係	テレビアンテナ基礎			
開口部		避雷針の基礎			
		特記した基礎			
		机上設置（扇台、アンカーボルトを除く）			
架台・パイプスト 特記した基礎	屋外設備（ “ ” ）				
	架台・パイプスト				
	特記した基礎				
	増強を要するもの				
貫通スリット	増強を要しないもの	○			
	増強を要するもの				
	増強を要しないもの		○		
	増強を要するもの		○		
防虫堤	計算機等・地 盤の拡大	増強を要しないもの（アウトレットボックスは除く）		○	
		増強を要するもの		○	
		増強を要するもの		○	
		増強を要しないもの		○	
	上記開口部の増出し 上記開口部の増補		○		
				○	
		スリーブの穴埋め（架枠の穴埋めを含む）	○	○	
		OAフロア配線器具用		○	
	床、壁、天井				
換気扇	外部取付ガラリ	ダクト、チャンパーの接続用フランジを含む			
		オイルサービスタンクの防虫堤、タンク基礎			
	床下水槽のマニホールふた				
		ガス漏れ検知器			
	耐火不燃塩化ビニル樹脂製収納内配線整理用端子板				
		通風口の換気フード			
	換気扇	本体	○		
		取付枠			
	流し台	本体（排水トラップ共）			
		水栓			
浴 槽	身障者用便所手すり		○		
	機器付風の制御盤以降の配電配線（接地共）				
		機器付風の制御盤への電源供給配電配線			
	自動制御装置と動力源との電源系統の通り配電配線				
		自動制御装置と動力源との操作回路の通り配電配線			
	機器と付属操作スイッチ等との通り配線				
		機器と付属操作スイッチ等との通り配電			
	機器と付属操作スイッチ				
		機器と付属操作スイッチの増設ボックス			
細 線	導体知識から通断制御等を妨げるダンパー及び排煙口に至る配電配線				
		小電器用固定式分岐制御盤以降の配電配線			
	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部への電源供給				
		自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と操作スイッチ間の配電配線及び操作スイッチ			
	防火扉レリーズ				
		電信機			
	配線ピット及びふた				
		別添機能などへの接続			
	ボード・マイク				
電子錠	照明ライン設備プレート				
		空調ライン設備プレート			
	電気取扱及び通電器具				
		センサー及び制御盤			
	杭工事				
		土工事			
	基礎工事				
		電気工事			
	水道りモーターメータの配線				
		水道りモーターメータの配線の経路と調査			






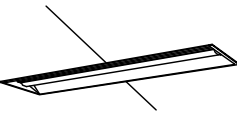
設備機材等指定表

品 目	機 材 等	適 用
電 線 ケー ブ ル	耐火ケーブル	耐火・耐熱電線認定業務委員会（社）日本電線工業会）の認定を受けている旨（JCMマーク）の表示をしたもの
開 閉 機 具	耐熱ケーブル	
防 災 用 照 明 器 具	非常用照明器具	（財）日本建築センターの性能評価マークが貼付されているもの
	誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定証書が発行されているもの
直 流 電 源 装 置	蓄電池	蓄電池設備協会認定委員会（社）日本蓄電池工業会）の認定証書が発行されたもの
（建築基準法及び消防法に使用する別適用）		
自 家 発 電 装 置	自家発電装置	（社）日本内務省設備協会の認定証書が発行されたもの
非 常 放 送	増幅機	
	操作装置	非常放送設備認定委員会（社）日本電子機械工業会）の基準適合ラベルが貼付されたもの
	遠隔操作機	
	非常電話機機、子機	
火 災 報 知 装 置	受信機	
	発信機	
	感知機	消防法に適合した旨の表示があるもの
自 動 閉 鎖 装 置	運動制御器（P形）	
	自動閉鎖装置	（財）日本建築センターの性能評価マークが貼付されているもの
	非常ベル	
非 常 警 報 装 置	表示灯	
	起動装置	非常警報設備認定業務委員会（社）日本火災報知機工業会）の認定証書が発行されたもの
	操作装置	
	一体形及び複合装置	
ガ ス 漏 れ 警 報 装 置	受信機	
	中継器	高圧ガス保安協会の検定合格証書又は（財）日本ガス機器検査協会の合格証書が発行されたもの
	感知器	
	交換機	
電 話 交 換 装 置	局結中継台	（財）電気通信端末機器審査委員会の認定を受けている旨の表示をしたもの
	電源装置	
	ポタン電話装置	

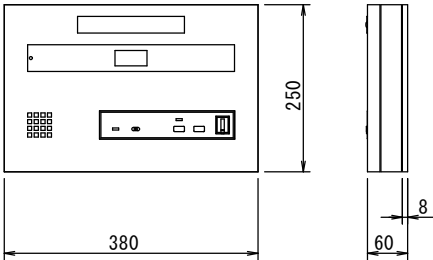
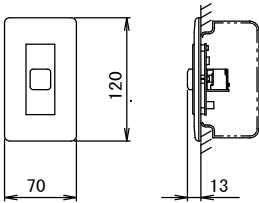
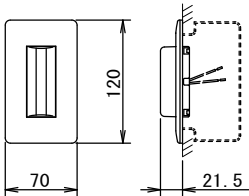
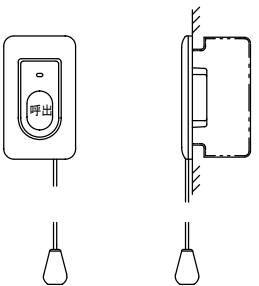
〇別表-1

品 目	機 材 等	適 用
照 明 器 具	常光灯器具（防湿・防炎器具を除く）	
盤 類	分電盤（実験盤を含む）	
	制御盤	
	キュービクル配電盤	
高 圧 機 器	高圧交流遮断機	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」及び日本配線器具工業会住宅用分電盤認定制度に基づく認定品とし、認定証書が貼付されたもの
	高圧低圧変圧器	
	高圧連相コンデンサ	
	高圧保護コンデンサ	
	高圧負荷開閉器（遠電流コンタクト高圧交流）	
	ガス開閉器（地中線用）を除く）	
交 流 無 停 電 電 源 装 置 （UPS）（容量300kVA以下）		
太 陽 光 発 電 装 置	パワーコンディショナー及び系統連動制御盤	
監視カメラ装置		
中央監視制御装置	監視制御装置	

			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : —	E
			図面名称		A3 : 71%縮小	01
			電気設備特記仕様書		令和 2 年 - 月 - 日	

A1	LRS1-08	A2	LRS1-05
			
LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 100形 光源寿命40,000時間（光束維持率85%） 反射板（上部）：プラスチック（ホワイﾄ） 反射板（下部）：鋼板（ホワイﾄつや消し仕上） 枠：鋼板（ホワイﾄつや消し仕上）、埋込穴φ100 5,000k、Ra85、拡散タイプ		LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 60形 光源寿命40,000時間（光束維持率85%） 反射板（上部）：プラスチック（ホワイﾄ） 反射板（下部）：鋼板（ホワイﾄつや消し仕上） 枠：鋼板（ホワイﾄつや消し仕上）、埋込穴φ100 5,000k、Ra85、拡散タイプ	
B	LSS1-2-30	C	LSS9-2-30
			
一般タイプ、3,200lmタイプ 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40,000時間（光束維持率85%） 昼白色（5,000k）、Ra83		一般タイプ、3,200lmタイプ 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40,000時間（光束維持率85%） 昼白色（5,000k）、Ra83	
D	LSS9-4-48	E	LED 5000LM形
			
一般タイプ、5,200lmタイプ 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40,000時間（光束維持率85%） 昼白色（5,000k）、Ra83		下面開放型 W300（※既設照明器具埋込寸法確認） 一般タイプ、5,200lmタイプ 本体：亜鉛鋼板 ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40,000時間（光束維持率85%） 昼白色（5,000k）、Ra83	

照明器具姿図

NC	トイレ呼出表示器（1窓）	●	復旧ボタン																				
																							
<table><tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz（内部電源DC12V）</td></tr><tr><td>形 状</td><td>壁取付形</td></tr><tr><td>材 質</td><td>SPCC t1.2</td></tr><tr><td>窓 数</td><td>1窓</td></tr><tr><td>表示方式</td><td>呼出音と表示窓点灯</td></tr></table>		電源電圧	AC100V 50/60Hz（内部電源DC12V）	形 状	壁取付形	材 質	SPCC t1.2	窓 数	1窓	表示方式	呼出音と表示窓点灯	<table><tr><td>形 状</td><td>壁埋込形（J I S 1 個用スイッチボックス）</td></tr><tr><td>材 質</td><td>ABS樹脂</td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr></table>		形 状	壁埋込形（J I S 1 個用スイッチボックス）	材 質	ABS樹脂						
電源電圧	AC100V 50/60Hz（内部電源DC12V）																						
形 状	壁取付形																						
材 質	SPCC t1.2																						
窓 数	1窓																						
表示方式	呼出音と表示窓点灯																						
形 状	壁埋込形（J I S 1 個用スイッチボックス）																						
材 質	ABS樹脂																						
◎	廊下灯	N	呼出ボタン（引きひも付）																				
																							
<table><tr><td>形 状</td><td>壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）</td></tr><tr><td>材 質</td><td>パネル部：自己消火性樹脂ランプ カバー：ポリカーボネート</td></tr><tr><td>備 考</td><td>LED方式（赤色）</td></tr></table>		形 状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）	材 質	パネル部：自己消火性樹脂ランプ カバー：ポリカーボネート	備 考	LED方式（赤色）	<table><tr><td>形 状</td><td>壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）</td></tr><tr><td>材 質</td><td>自己消火性樹脂</td></tr><tr><td>備 考</td><td>引きひも式、押ボタン式両用</td></tr></table>		形 状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）	材 質	自己消火性樹脂	備 考	引きひも式、押ボタン式両用								
形 状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）																						
材 質	パネル部：自己消火性樹脂ランプ カバー：ポリカーボネート																						
備 考	LED方式（赤色）																						
形 状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）																						
材 質	自己消火性樹脂																						
備 考	引きひも式、押ボタン式両用																						

弱電機器姿図

		工事名称 事務棟2階トイレ改修工事 図面名称 電気機器姿図	(有)白濱建築設計事務所 1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	縮 尺	図面番号
				A2：—	E
				A3：71%縮小	02
				令和 2 年 - 月 - 日	

前室

1. 既設照明器具 (FL20Wx1 (埋込)) -1台

撤去の後、新規照明 C -1台取付

2. 既設火報感知器 (差動式ｽﾎﾟｯﾄ2種) -1個撤去の後、  
新規火報感知器 (差動式ｽﾎﾟｯﾄ2種) -1個取付

3. 既設天井埋込ｽﾎﾟｰｶｰ撤去、及び再取付 -1台

湯沸室

前室

FL20Wx1 (埋込) -1

FL40Wx2 (直付) -2

FL40Wx2 (埋込) -4

調教師休憩室

便所

ゼッケン室

1. 既設照明器具 (FL40Wx2 (直付)) -2台

撤去の後、新規照明 D -2台取付

2. 既設火報感知器 (差動式ｽﾎﾟｯﾄ2種) -1個撤去の後、  
新規火報感知器 (差動式ｽﾎﾟｯﾄ2種) -1個取付

2,200

1,490

6,000

1,500

2,300

3,800

2,260

1,340

7,400

225

245

100

3

3

4

調教師休憩室

1. 既設照明器具 (FL40Wx2 (埋込)) -4台

撤去の後、新規照明 E -4台取付

2. 既設火報感知器 (差動式ｽﾎﾟｯﾄ2種) -2個撤去の後、  
新規火報感知器 (差動式ｽﾎﾟｯﾄ2種) -2個取付

1Φ3W200V/100V  
(既設電灯盤二次側より分岐)

2.0

ELCB 3P  
30/20A

MCB 2P  
30/20A

MCB 2P  
30/20A

1

男子便所  
ウォシュレット他  
トイレ呼出表示器

2

女子便所  
ウォシュレット他

2階便所ウォシュレット用電源盤  
(銅板製既製品)

凡 例

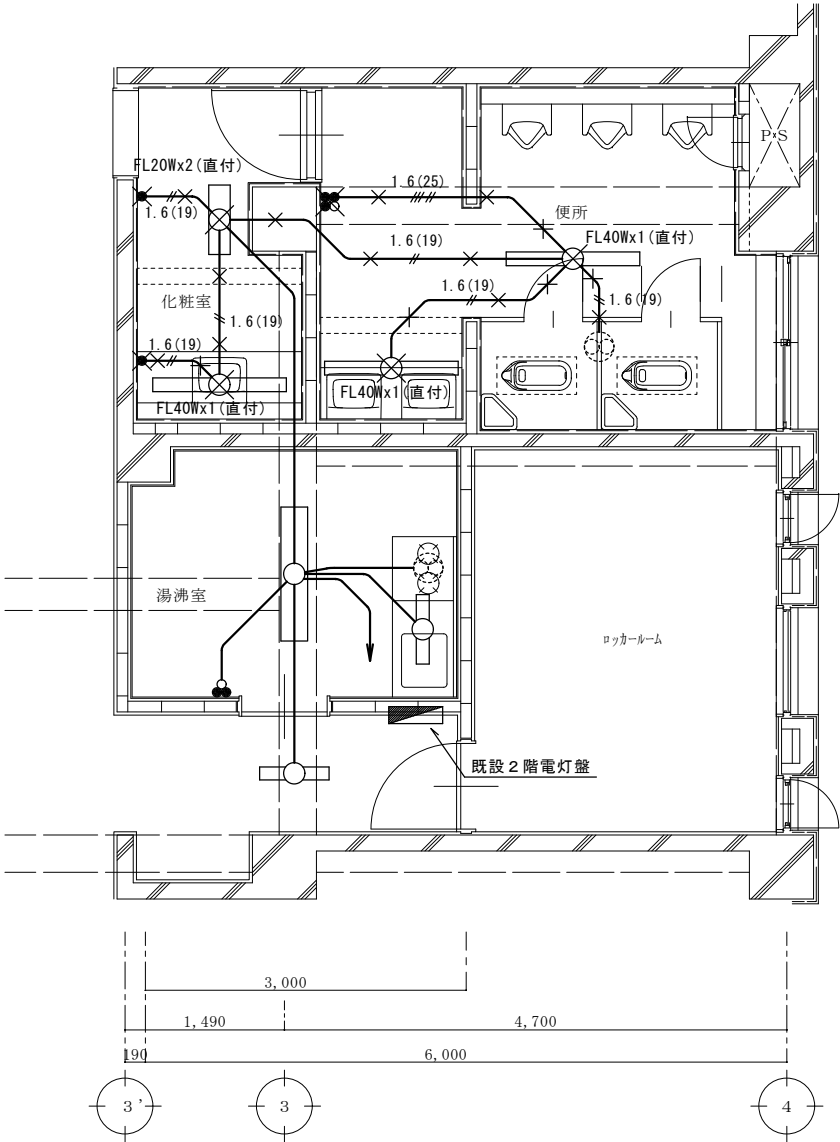
記号	名 称	備 考
S	開閉器函	結線図参照
○	照明器具 (LED) 蛍光灯型	姿図参照
◎	照明器具 (LED) ダウンライト	〃
▽A	人感センサー 照度センサー付 親機 8A	
▽B	〃 子機	
▽C	〃 子機 換気扇連動	
▽D	〃 換気扇連動	
●	埋込スイッチ 1P15A	大角連用 金属ﾌﾟﾚｰﾄ
○	〃 1P4A (パイロット表示付き)	〃
㊦ET	埋込コンセント 2P15Ax1, ET付	〃
㊦2ET	〃 2P15Ax2, ET付	〃
⊗	ジョイントボックス (OB中浅C付)	
NC	トイレ呼出表示器 (窓数は傍記)	姿図参照
N	トイレ呼出押し釦 引き紐付	〃
◎	廊下表示灯	〃
◻	復旧ボタン	〃
⊙	天井埋込ｽﾎﾟｰｶｰ (既設品流用)	点線の器具は既存のまま
⌂	火災報知感知器 差動式ｽﾎﾟｯﾄ 2種	
⊖	区画貫通処理	
×	撤去 (再使用無し)	

（既存）1階天井伏図 1/100

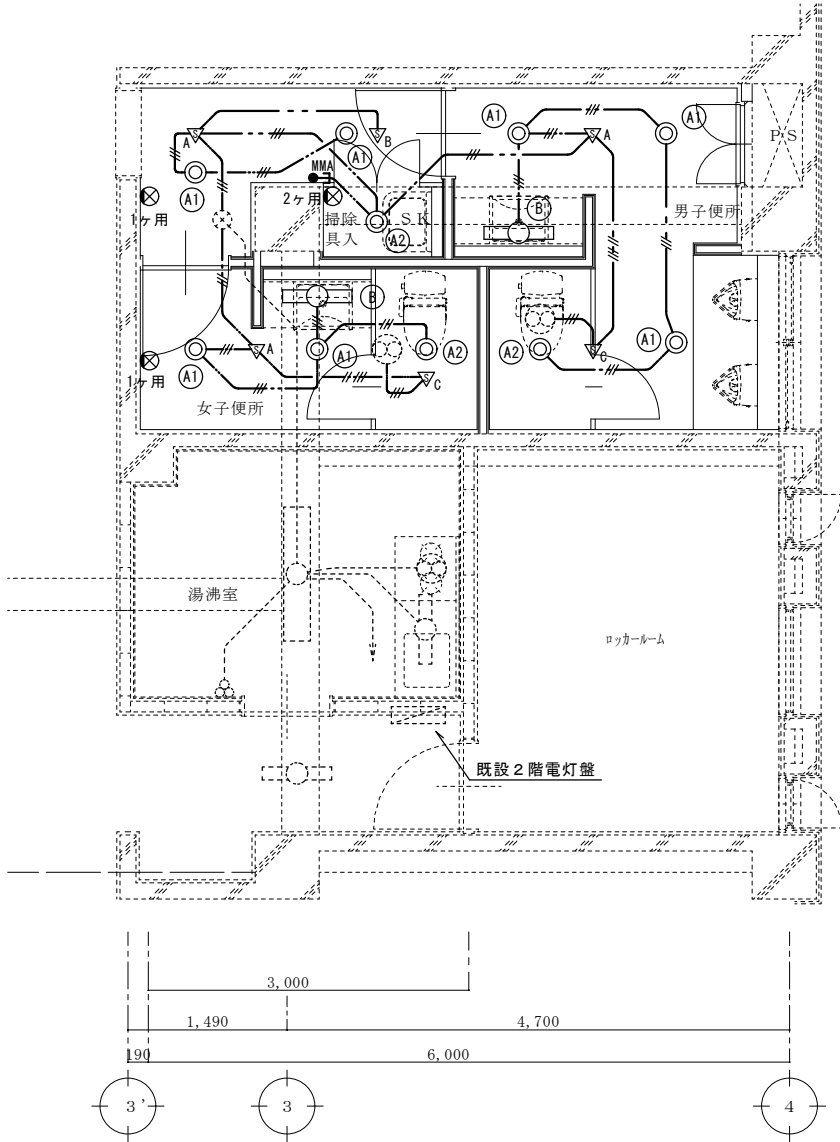
備考

			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	E
			図面名称		A3 : 71%縮小	03
			1階平面図・凡例・結線図		令和 2 年 - 月 - 日	





(既存) 2階便所平面詳細図 1/50



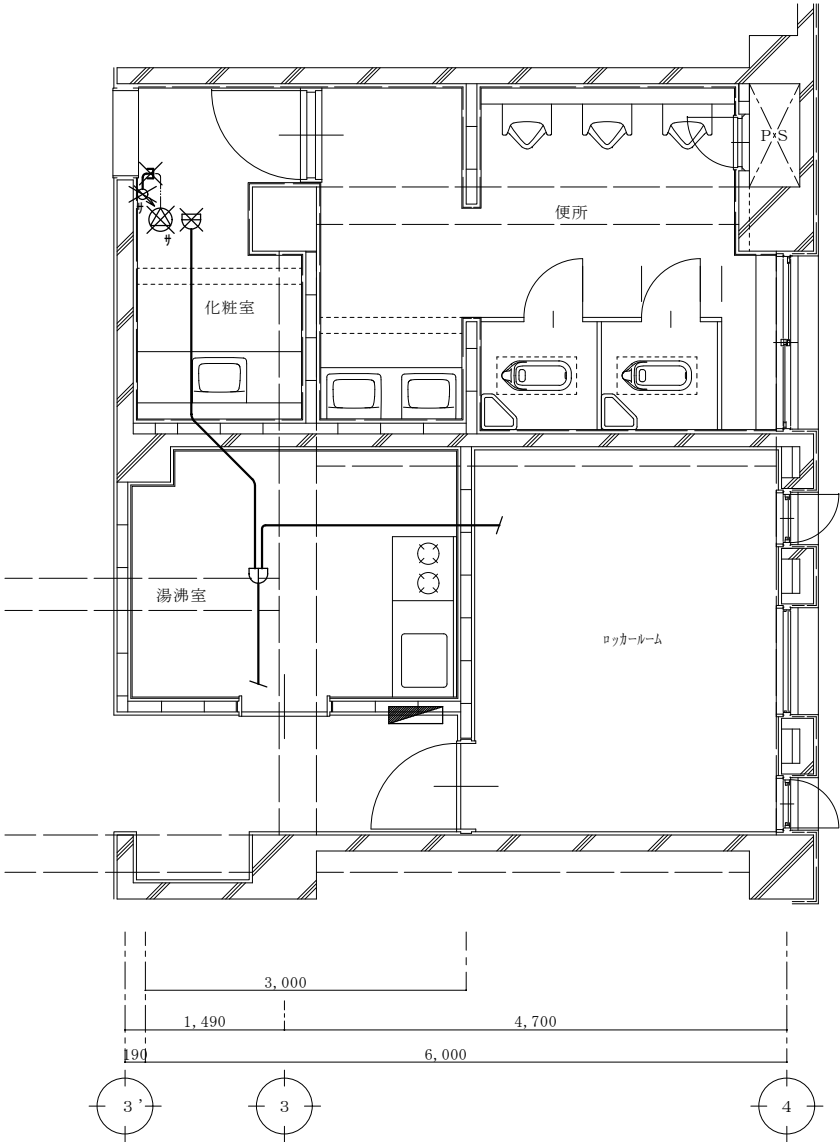
(改修) 2階便所平面案 1/50

凡 例		
記号	名 称	備 考
S	開閉器函	結線図参照
○	照明器具 (LED) 蛍光灯型	姿図参照
◎	照明器具 (LED) ダウンライト	"
▽A	人感センサー 照度センサー付親機 8A	
▽B	" 子機	
▽C	" 子機 換気扇連動	
▽D	" 換気扇連動	
●	埋込スイッチ 1P15A	大角連用 金属プレート
○	" 1P4A (パイロット表示付き)	"
⊖	区画貫通処理	
×	撤去 (再使用無し)	

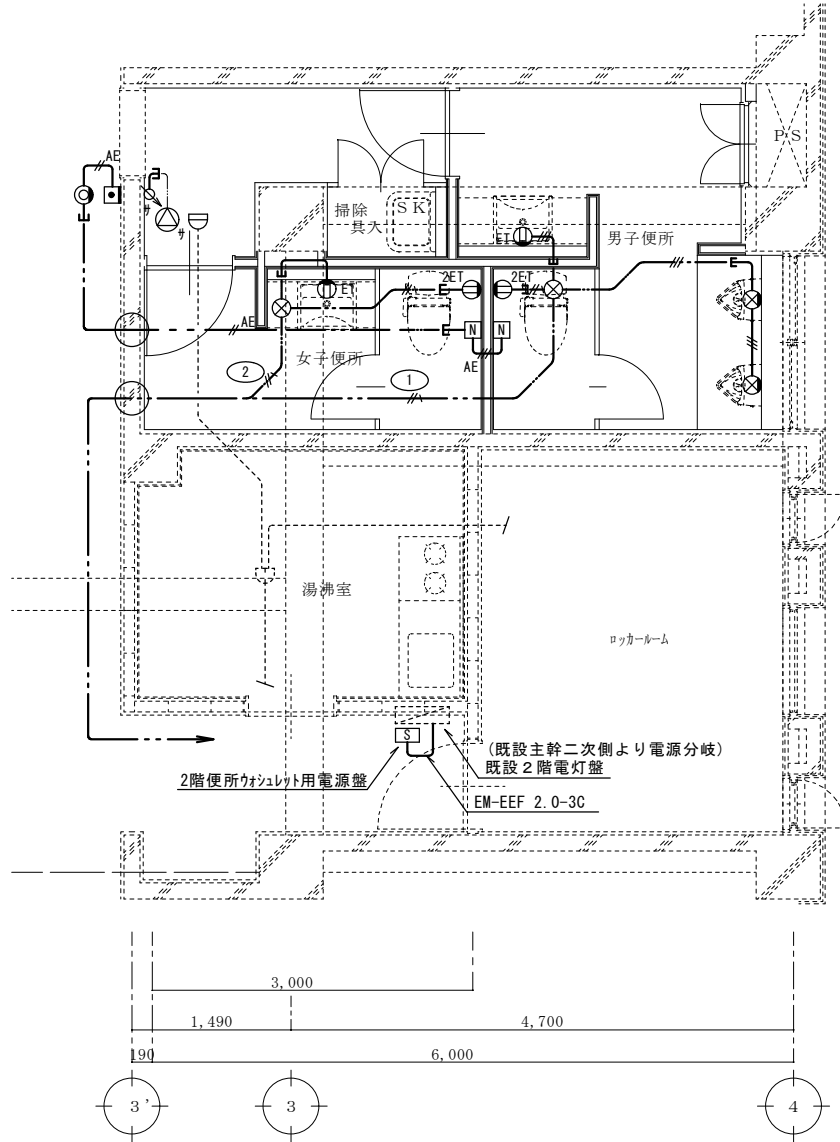
配線リスト		保護管		
— # —	EM-EEF 2.0-3C	コパシ	(PF22)	(MM A)
— - -	EM-EEF 1.6-2C	"	(PF16)	(MM A)
— # —	EM-EEF 1.6-3C	"	(PF16)	(MM A)
— # # —	EM-EEF 1.6-2Cx2	"	(PF22)	(MM A)
— # # —	EM-EEF 1.6-2C+3C	"	(PF22)	(MM A)

注) 1. 配線の壁立上り, 引下げは配管 (PF管) により保護する。(インペイ部)  
2. 配線の壁立上り, 引下げは配管 (MM) により保護する。(露出部)

		工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
		事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/30・50	E
		図面名称		A3 : 71%縮小	04
		(既存・改修) 2階便所平面詳細図 (電灯設備)		令和 2 年 - 月 - 日	



(既存) 2階便所平面詳細図 1/50



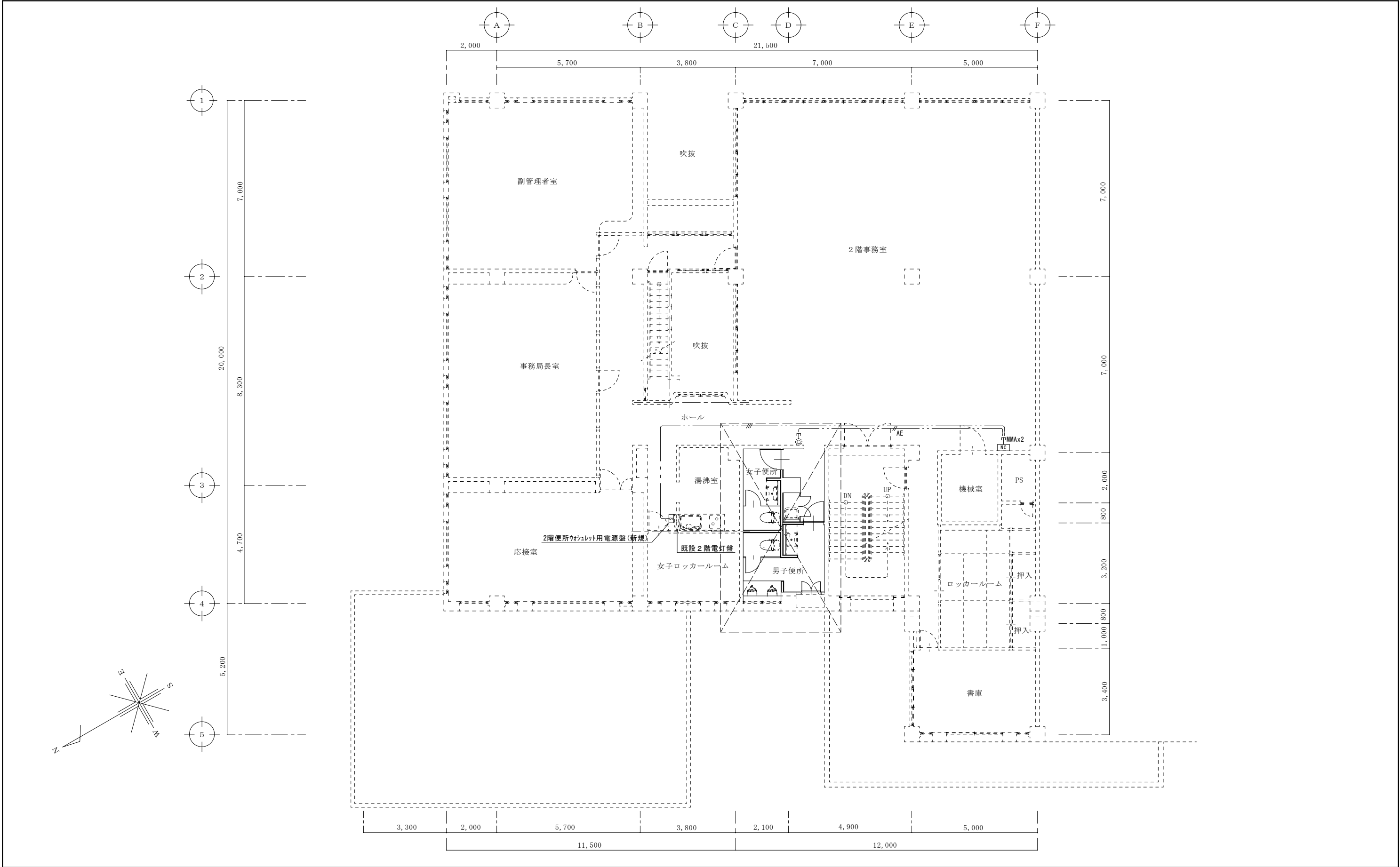
(改修) 2階便所平面案 1/50

凡 例		
記号	名 称	備 考
S	開閉器函	結線図参照
⓪ET	埋込コンセント 2P15Ax1, ET付	大角連用 金属プレート
⓪2ET	" 2P15Ax2, ET付	"
⊗	ジョイントボックス (OB中浅C付)	
NC	トイレ呼出表示器 (窓数は傍記)	姿図参照
N	トイレ呼出押し釦 引き紐付	"
◎	廊下表示灯	"
■	復旧ボタン	"
△#	天井埋込スリッカー (既設品流用)	
◇#	フタネーター (既設品流用)	
⊖	火災報知感知器 差動式スリット 2種	
⊖	区画貫通処理	
×	撤去 (再使用無し)	
×#	撤去 (再使用有り)	

配線リスト		保護管		
—#—	EM-EEF 2.0-3C	コロガシ	(PF22)	(MM A)
—#—	EM-EEF 1.6-3C	"	(PF16)	(MM A)
—#AE—	EM-AE 1.2-2C	"	(PF16)	(MM A)
—#AE—	EM-AE 1.2-3C	"	(PF16)	(MM A)

注) 1. 配線の壁立上り, 引下げは配管(PF管)により保護する。(インペイ部)  
2. 配線の壁立上り, 引下げは配管(MM)により保護する。(露出部)

		工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
		事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/30・50	E
		図面名称		A3 : 71%縮小	05
		(既存・改修) 2階便所平面詳細図 (コンセント・弱電設備)		令和 2 年 - 月 - 日	

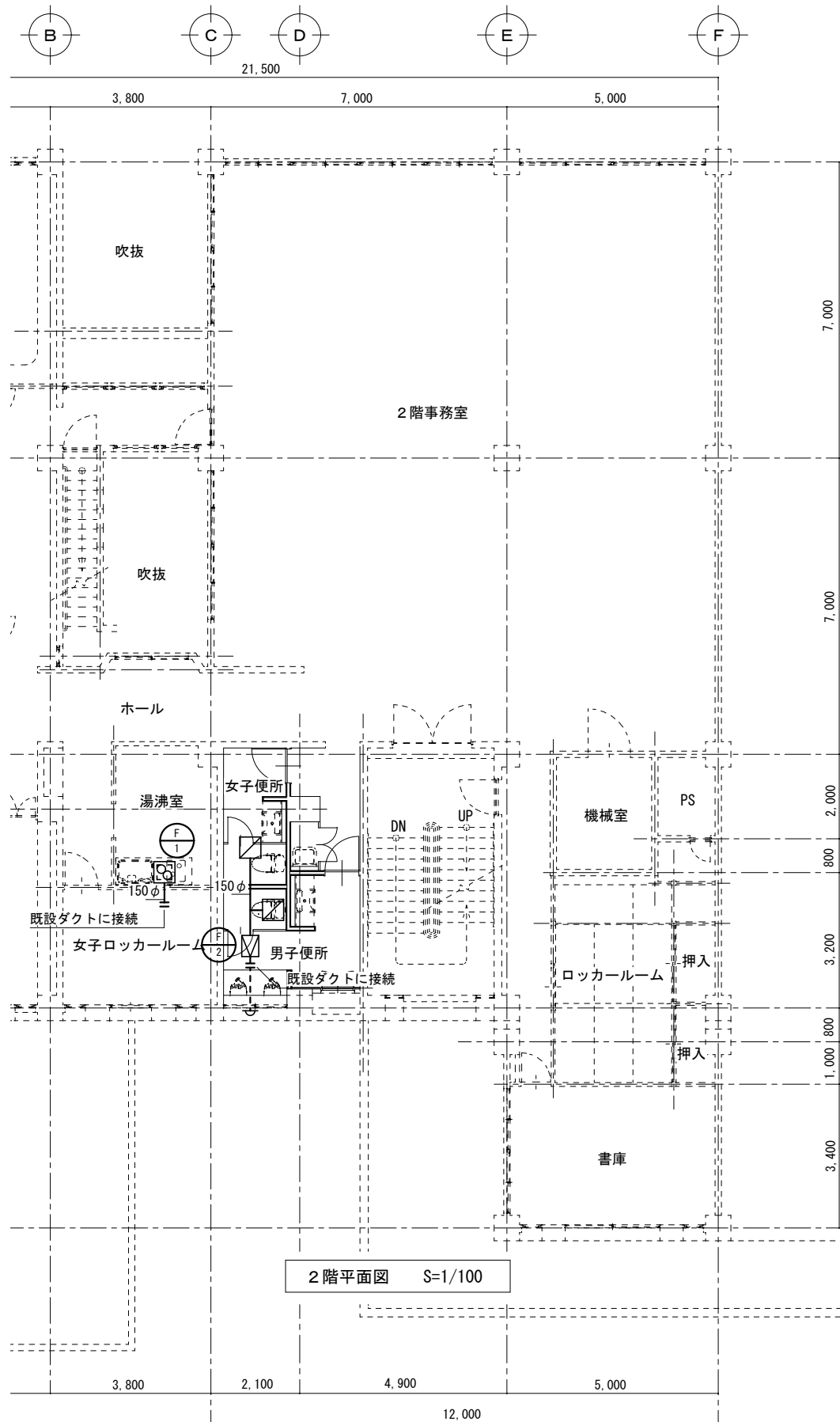


			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	E
			図面名称		A3 : 71%縮小	06
			(改修)2階平面図(電灯・弱電設備)		令和 2 年 - 月 - 日	

[illegible]

衛生設備器具表 ※衛生陶器は防汚仕様とする。																		小計	備考
名称	型番		仕様	2 階															
				男子便所		女子便所													
壁掛大便器	CS597BPC, SH598BAY, TCF5840AU	BC-P20S, DT-PA250CH, CW-PA11F			1		1										2		
棚付2連紙巻き器（ステンス製）	YH701	CF-63HST	SUS製、棚付二連式、ワンハンドカット		1		1										2		
自動洗浄小便器	UFS900R	YUA11AP	低リップ（AC100V）		2												2		
はめ込み式洗面器	L 350CM、TENA12A, TLK05202J	YL2150FCS, EHMNCA3S7AM203V1, KS92*MTPA	排水金具ポップアップ式		1		1										2		
掃除流し		TS202A/BN8, SF20SAF-P	バック付、送り座付横水栓				1										1		
化粧鏡	YM3545F		350×450mm 耐食鏡		1		1										2		
マーブライトカウンター	ML45	MB450M	D=450mm、1,100L フロントパネル共		1												1		
	ML45	MB450M	D=450mm、1,500L フロントパネル共				1										1		

			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : ———	M
			図面名称		A3 : 71%縮小	0 2
			衛生設備器具表		令和 2 年 - 月 - 日	



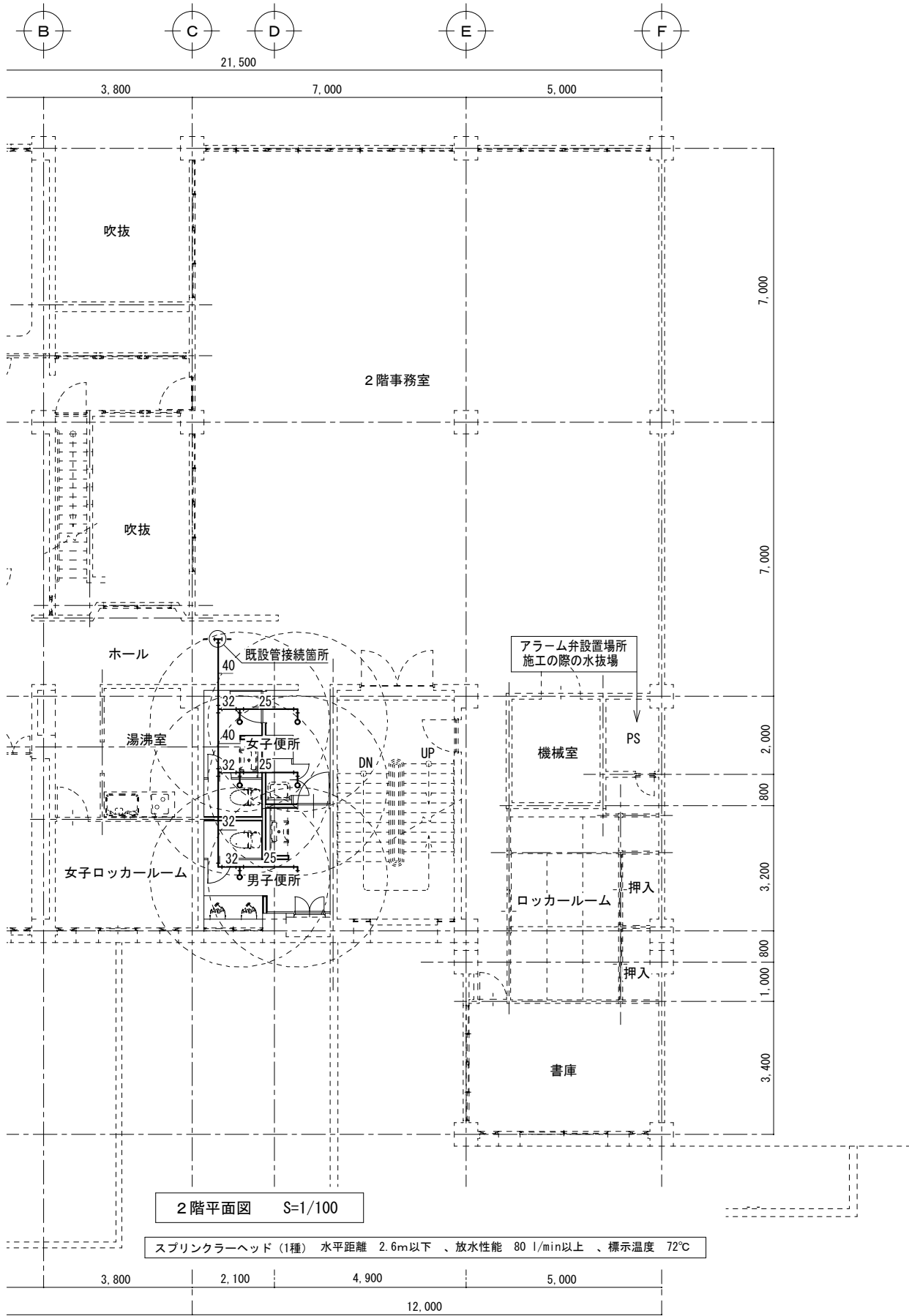
機器表

記 号	名 称	台数	仕 様	動 力			備考（系統・設置場所）
				φ	V	W	
F-1	天井換気扇	1	低騒音型 230φ × 600 m3/h	1	100	88	
F-2	中間扇	1	低騒音型 150φ × 300 m3/h	1	100	43.5	吸込グリル150Φ×2

凡 例

記 号	名 称	仕 様
	換気扇	天井換気扇
	ダクト	スパイラルダクト

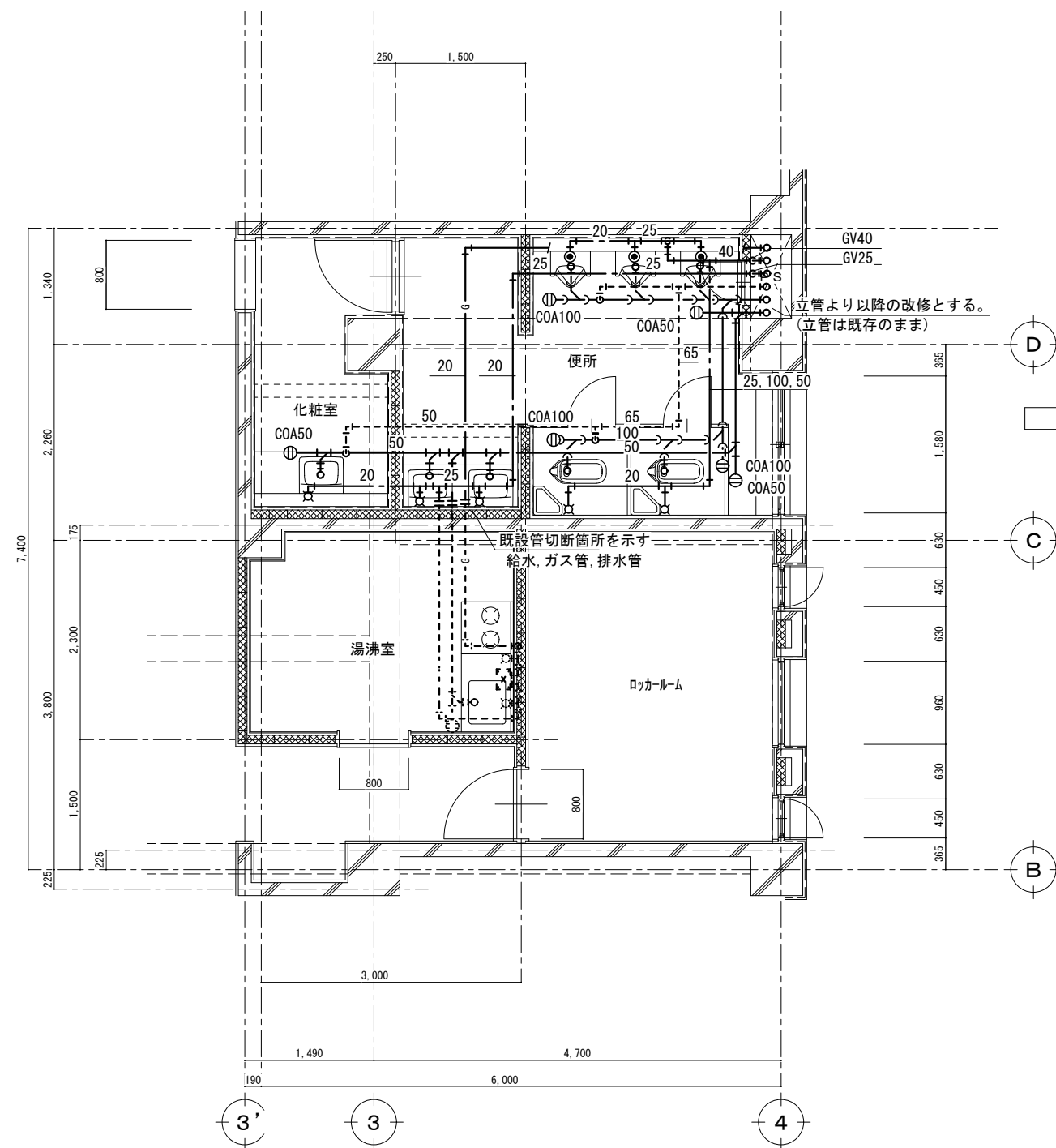
		工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
		事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	M / 03
		図面名称		A3 : 71%縮小	
		(改修) 2階平面図・機器表・凡例(換気設備)		令和 2 年 - 月 - 日	



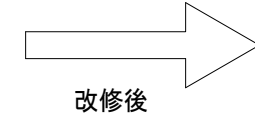
凡 例

記 号	名 称	仕 様
—— ———	給 水 管	(一般) 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VA
—————	排 水 管	(一般) 硬質塩化ビニル管 VP (区画貫通、1階床上 全て耐火二層管とする)
——┐——	汚 水 管	(一般) 硬質塩化ビニル管 VP (区画貫通、1階床上 全て耐火二層管とする)
-----	通 気 管	(一般) 硬質塩化ビニル管 VP (区画貫通、1階床上 全て耐火二層管とする)
—— X ——	スプリンクラー管	(一般) 配管用炭素鋼々管 (白)

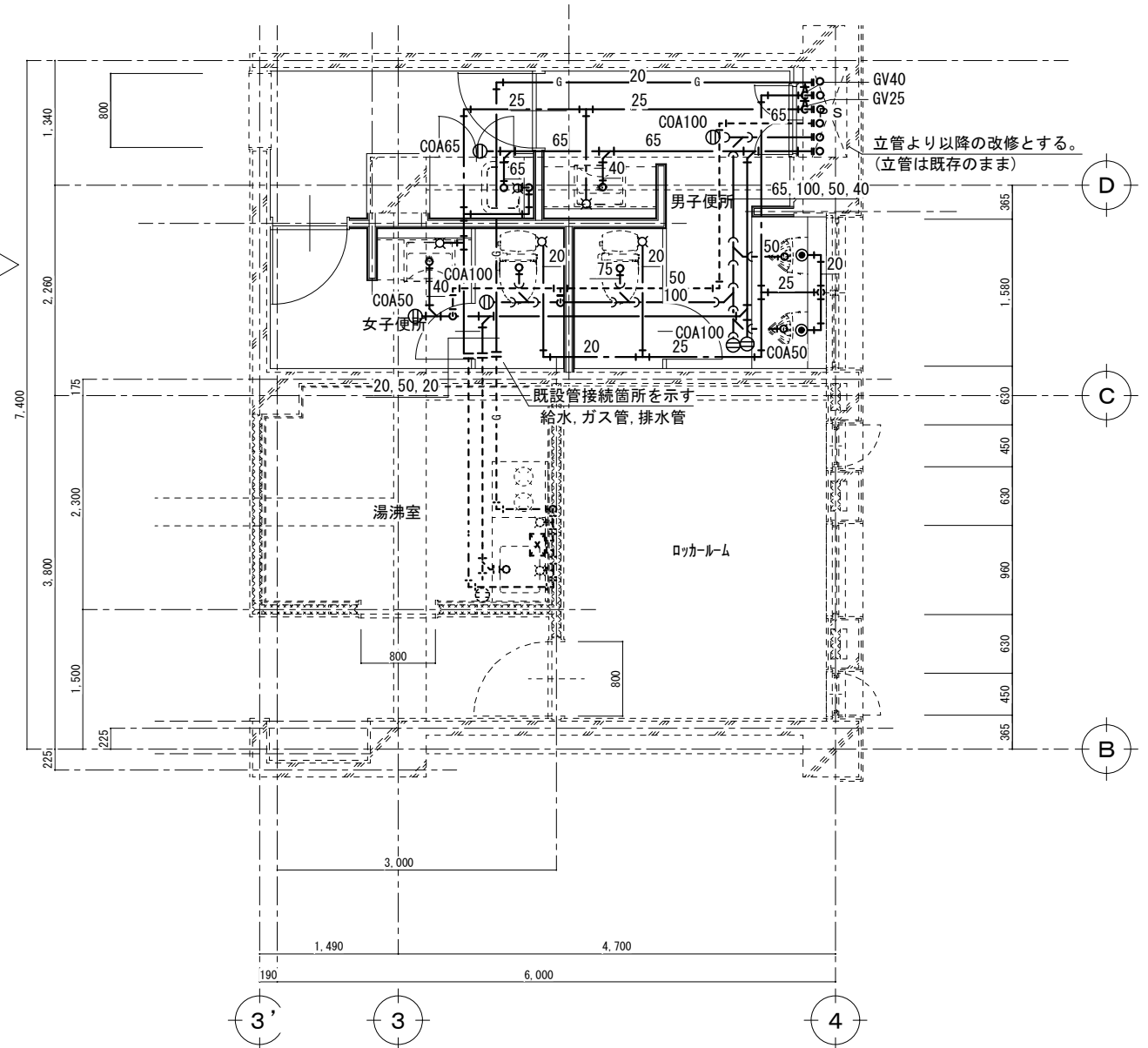
		工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
		事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	M
		図面名称		A3 : 71%縮小	04
		(改修) 2階平面図・凡例(消火設備)		令和 2 年 - 月 - 日	



(既存) 2階便所平面詳細図 1/50



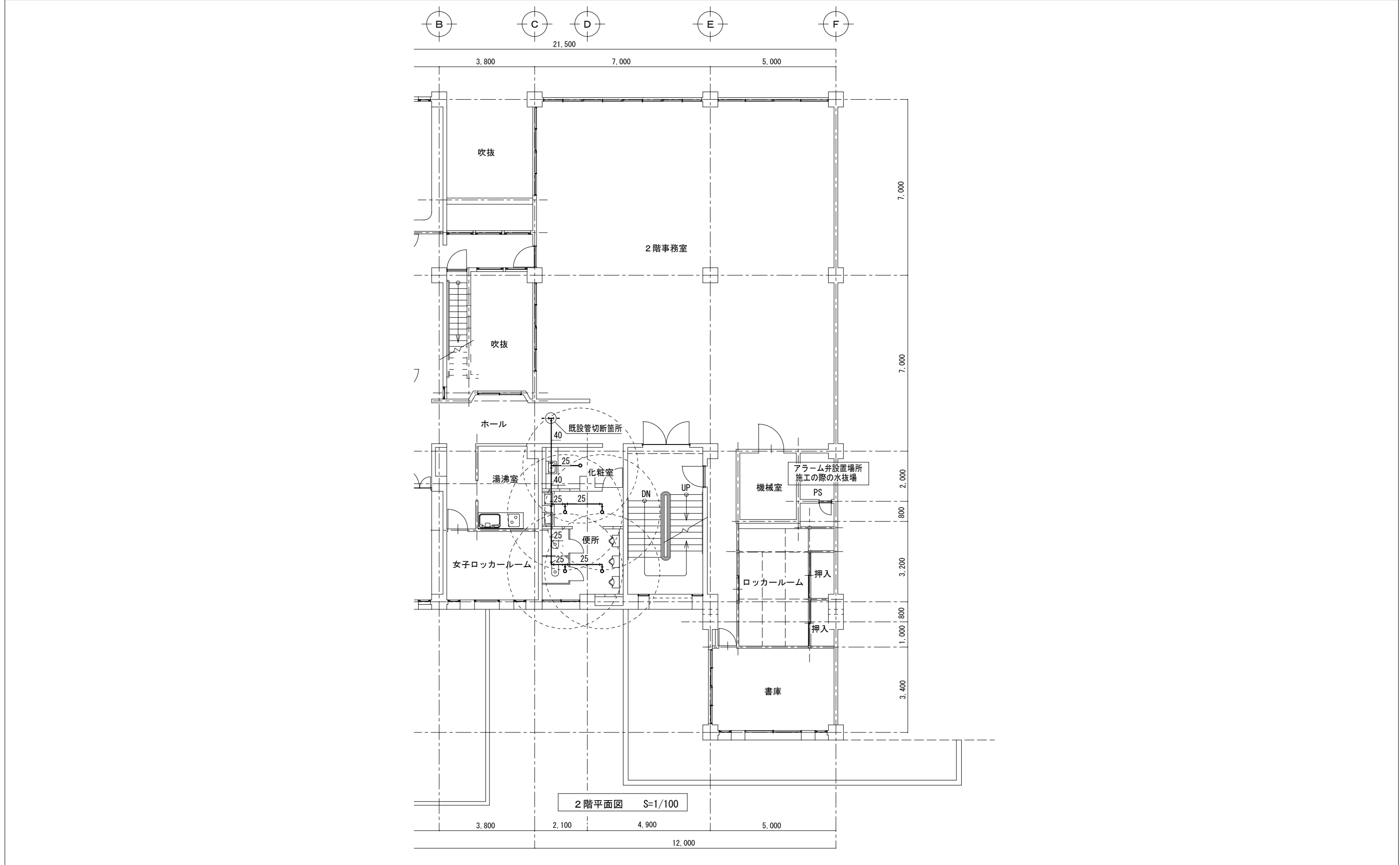
凡 例			
記 号	名 称	仕 様	
—— — ——	給 水 管	(一般) 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VA	
—————	排 水 管	(一般) 硬質塩化ビニル管	VP (区画貫通、1階床上 全て耐火二層管とする)
——D——	汚 水 管	(一般) 硬質塩化ビニル管	VP (区画貫通、1階床上 全て耐火二層管とする)
- - - - -	通 気 管	(一般) 硬質塩化ビニル管	VP (区画貫通、1階床上 全て耐火二層管とする)
—— X ——	スプリンクラー管	(一般) 配管用炭素鋼々管	(白)
—— G ——	ガ ス 管	(一般) 配管用炭素鋼々管	(白)



(改修) 2階便所平面案 1/50

			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/50	M
			図面名称		A3 : 71%縮小	05
			(既存・改修) 2階便所平面詳細図・凡例(衛生設備)		令和 2 年 - 月 - 日	





			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	M
			図面名称		A3 : 71%縮小	06
			(既存) 2階平面図(撤去消火設備)		令和 2 年 - 月 - 日	